

# 第18回神奈川県美術展

# 1983

1期展

日本画・洋画・版画・彫刻・立体造形

1月25日(火)→2月6日(日)

2期展

工芸・書・写真

2月9日(水)→2月20日(日)

会場

神奈川県民ギャラリー

主催

神奈川県美術展委員会／神奈川県

# 第18回神奈川県美術展

- 1期展：日本画・洋画・版画・彫刻・立体造形  
昭和58年1月25日(火)→2月6日(日)
- 2期展：工芸・書・写真  
昭和58年2月9日(水)→2月20日(日)
- 会場 神奈川県民ギャラリー
- 主催 神奈川県美術展委員会・神奈川県



## ごあいさつ

作家に発表の機会を提供し、創作意欲を高めるために昭和40年以来開催してまいりました神奈川県美術展が今年で第18回を迎えました。

今回の展覧会開催にあたって御協力をいただいた多くの方々にお礼申し上げます。特に昨年を約150点上まわる応募作品の審査を熱心に行なってくださった審査員の方々に深く感謝いたします。

神奈川にすぐれた作家の方達がいらっしゃることは、今回の展覧会に約2000点もの優秀な作品がよせられたことでもあります。

神奈川県美術展委員会は、こうしたすぐれた作家の方々とともに神奈川の美術の向上につとめてまいりたいと思います。

皆様のあたたかい御支援・御協力をお願いいたします。

昭和58年1月

神奈川県美術展委員会

委員長 上野 豊



日本画  
洋画  
版画  
立体造形

■ I 期展：1月25日→2月6日





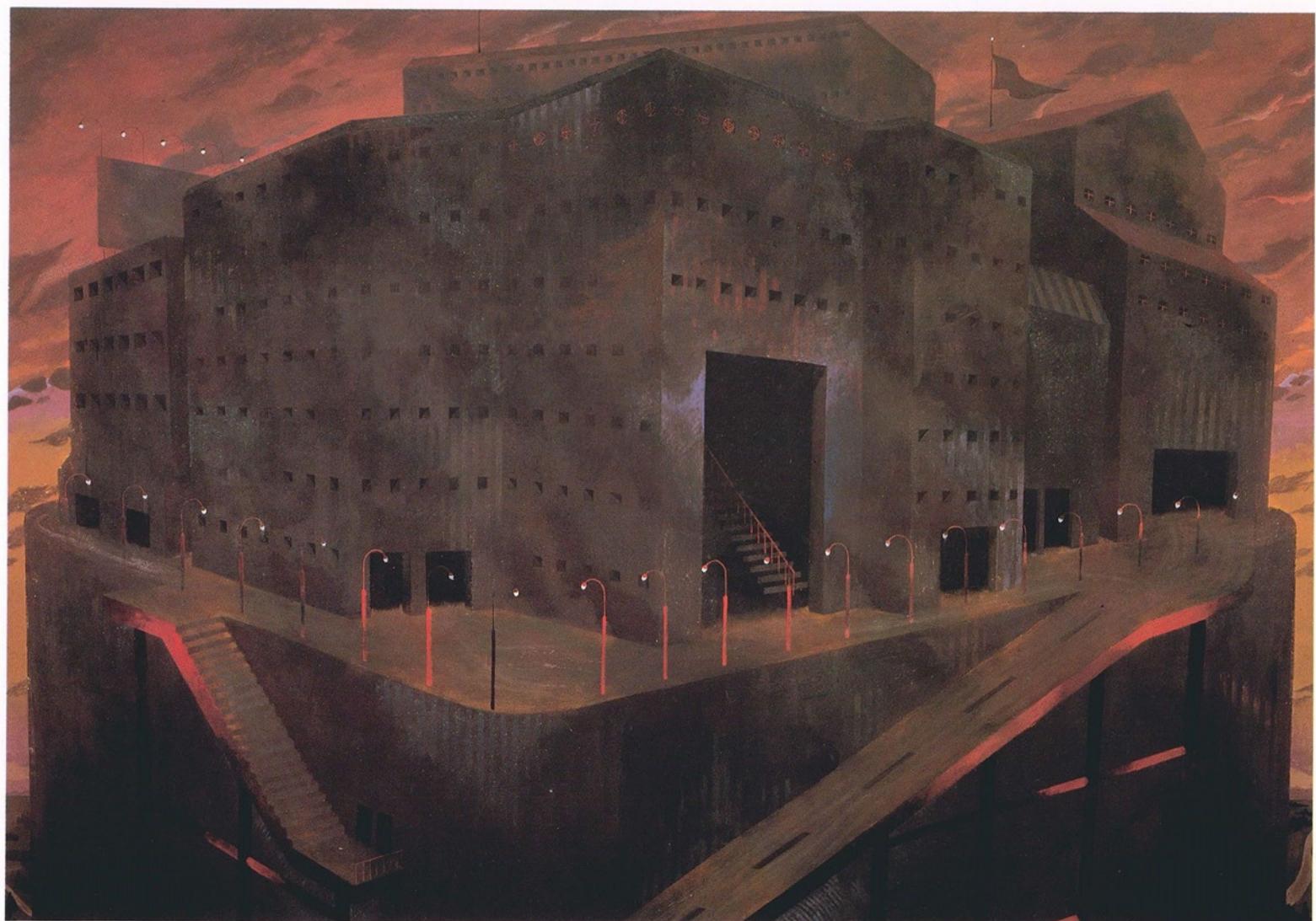
大賞 ■ 小泉正彦 冬の木（洋画）



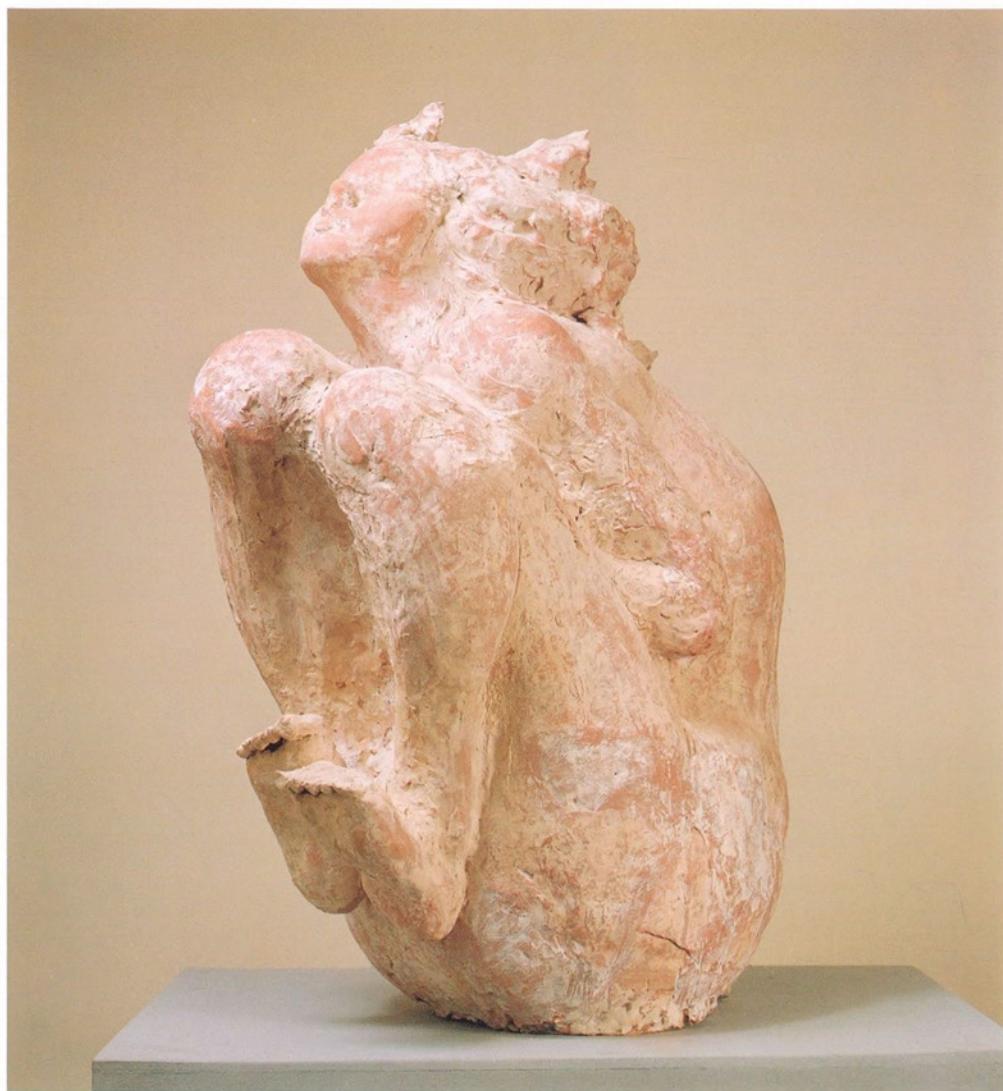
準大賞 ■ 星 兼雄 変容Ⅱ（洋画）



特選 ■ 大庭明子 食卓音楽のために（版画）



特選 ■ 千住 博 都市の詩（暮色幻想）（日本画）



特選 ■ 尾谷耕一 夢化石（彫刻）



美術奨学会賞 ■ 坂井匠子 すわる（彫刻）

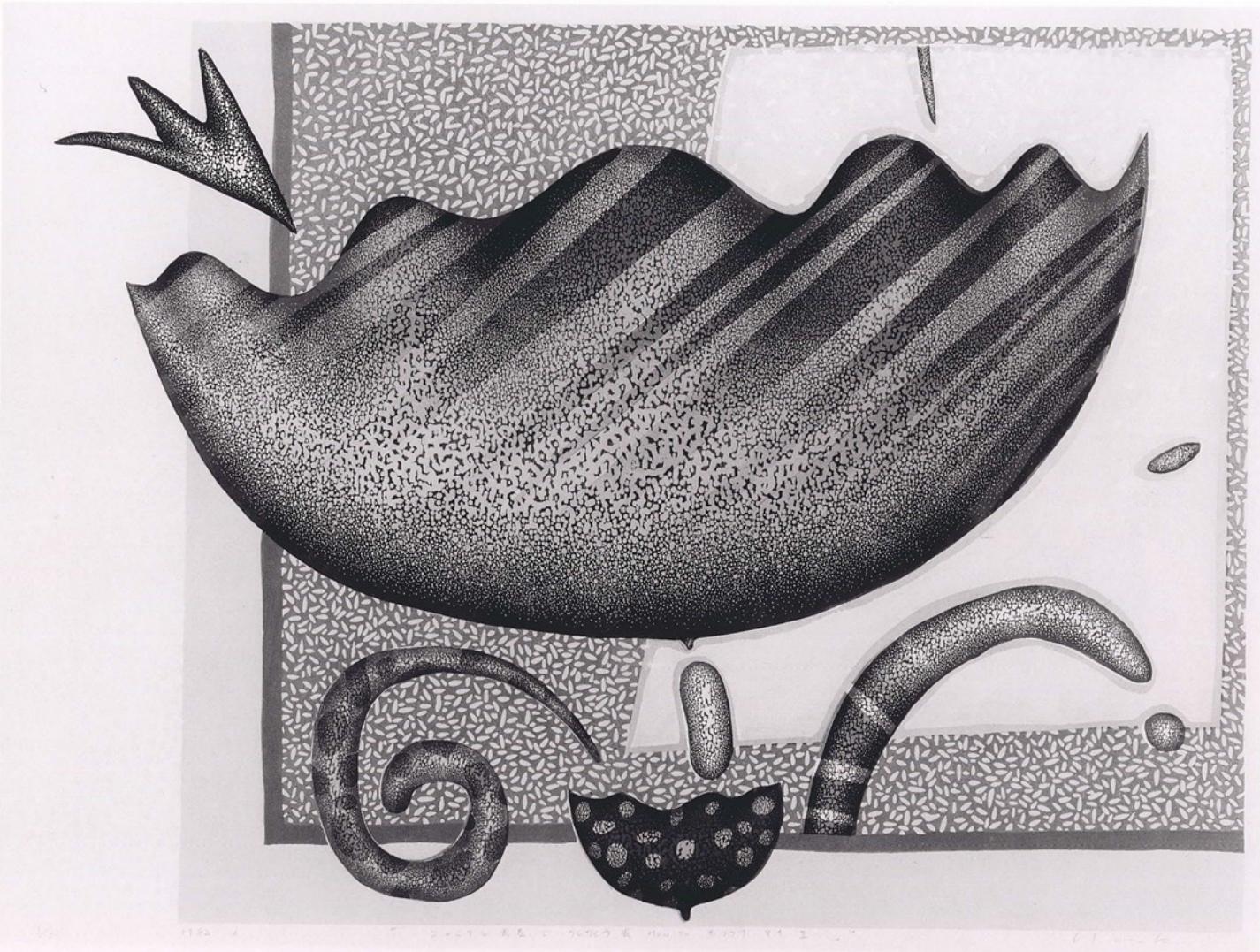
美術獎学会賞

■ 阿部 守 RA (立体造形)

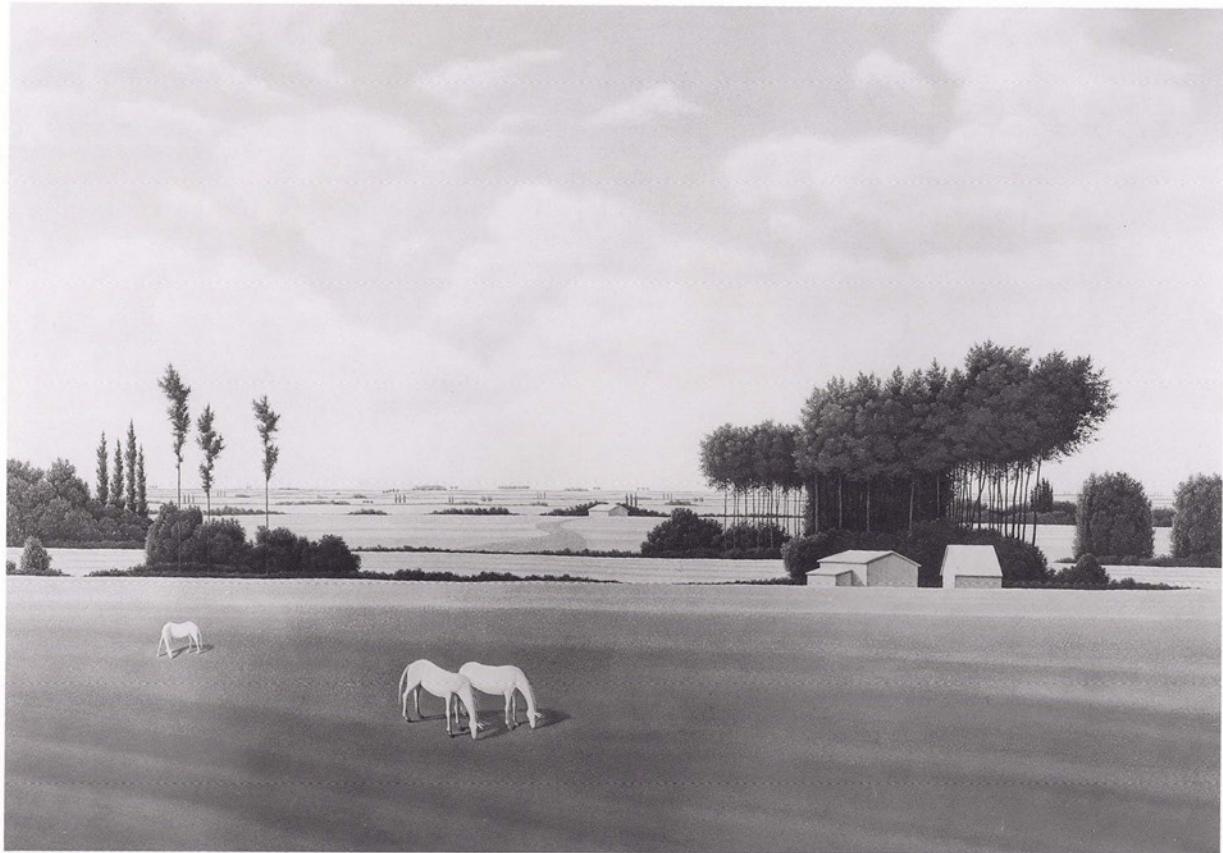




美術奨学会賞 ■ 金 光広 変わらぬ眺め一尺一（版画）



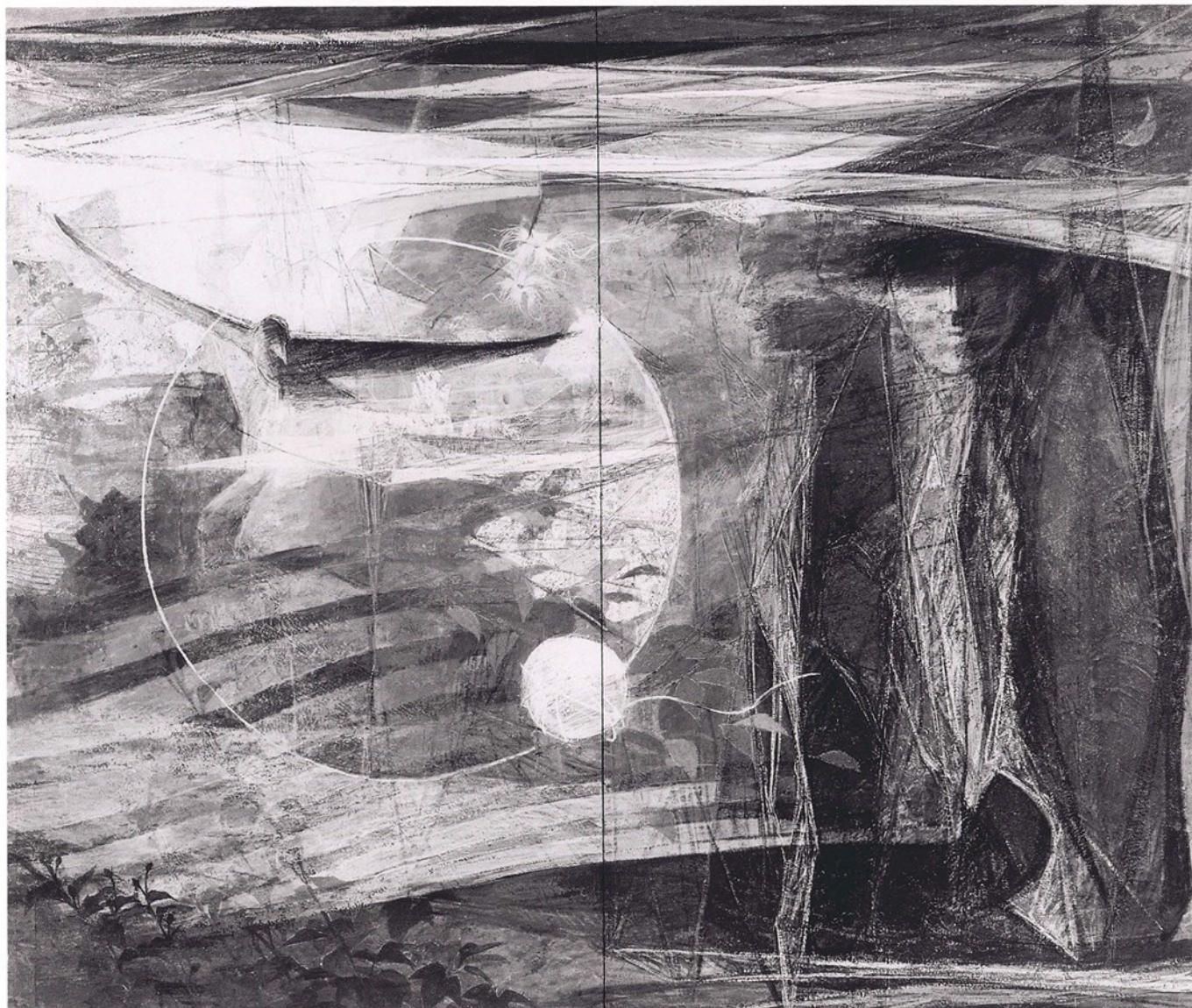
美術奨学会賞 ■ 平木美鶴 ジャングル風呂でウヒウヒウ風  
How to もりつけアイⅡ（版画）



特別奨励賞 ■ 佐藤 武 風景（洋画）



特別奨励賞 ■ 難波京子 tension-D (立体造形)



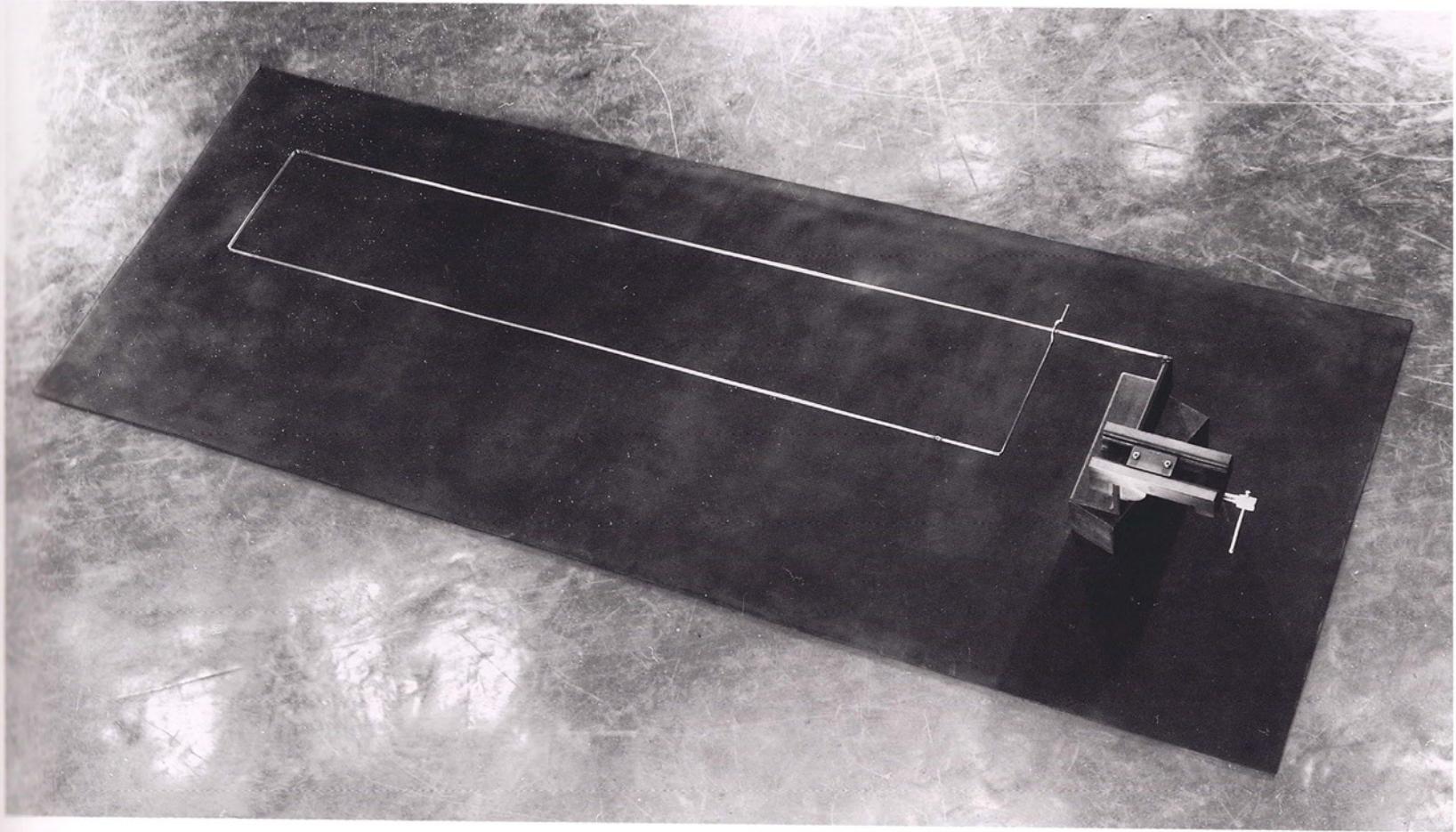
特別奨励賞 ■ 柳沢正人 流転（日本画）



特別奨励賞 ■ 齊藤典彦 夜に（日本画）



特別奨励賞 ■ 酒井道久 カロリンのやり方（彫刻）



近代美術館賞 ■ 平野米三 水平考「回帰」(立体造形)

## ■受賞作品目録 〈日本画・洋画・版画・彫刻・立体造形部門〉

### ■大賞

小泉正彦 冬の木(洋画)

### ■準大賞

星 兼雄 変容(Ⅱ)(洋画)

### ■特選

大庭明子 食卓音楽のために(版画)  
千住 博 都市の詩(暮色幻想)(日本画)  
尾谷 耕一 夢化石(彫刻)

### ■美術奨学会賞

金 光広 変わらぬ眺めーRー(版画)  
平木美鶴 ジャングル風呂でウヒウヒウ風  
坂井匠子 How to もりつけアイⅡ(版画)  
すわる(彫刻)  
阿部 守 RA(立体造形)

### ■近代美術館賞

平野米三 水平考「回帰」(立体造形)

### ■特別奨励賞

柳沢正人 流転(日本画)  
斎藤典彦 夜に(日本画)  
佐藤 武 風景(洋画)  
酒井道久 カロリンのやり方(彫刻)  
難波京子 tension-D(立体造形)

## ■入選作品目録

### 〈日本画〉

小島敬介 蓮  
小島經子 鶴の舞  
中村英子 みづうみのほとりー手廻しオルガナー  
高田冬子 待っている人  
山下まゆみ 3匹の猫  
匂坂均 迷妄  
富岡克雄 森の巣  
中村慎一 赤い畠  
神庭道子 夢の默示録  
油野由美子 群舞  
青木藻美 Mの記憶  
椎木幸子 一隅  
大熊信子 納屋  
品川成明 景(浜面)  
森川典子 花苑  
間瀬静江 HANA I  
牧野一泉 因果詩頌図2  
一瀬まり子 あした  
林美枝子 微風  
小野寺茂 佇む  
香野ルミ子 佳き日  
市橋豊美 眠るかたちーオオアリワイー  
川村紫朗 晩秋  
入江都賀 シスター  
黒川 静 木の精  
原道子 胡蝶蘭のある部屋  
飯田定光 桜島  
千住博 都市の詩(雨の後)  
岡田秀明 たゆとう・つづれ(印度夢幻)  
柳沢正人 地の壁  
竹川正俊 想  
渡辺薫 朱の室内  
河村佳行 朝  
平岡直久 業火  
小出繁弥 束の間の季節  
斎藤典彦 海にて——タ  
野崎丑之介 水軍  
佐藤潔 音信号B  
吉武千枝 初冬の風景

### 〈洋画〉

高梨潔 波止場B  
田口寿代 空気と光 A市-①  
西森禎子 ZEROの誕生 II  
田中善隆 ドキン、ドキンB  
松田健 影(遊)  
上新知彰 界(2)  
八木沢昭 シュート I  
中村裕俊 女と男  
小串世喜 ポランの庭  
千葉恵美子 浮く時  
松岡美保 Space  
田中愛子 花  
野中義之 胎児 I  
大木康志 カさごのある静物  
畠中陽一 増殖-(スタジアムシーン)-(I)  
鈴木秀夫 連帶(紙ひこうき)  
大橋幹 作品A-1  
岡田房子 暮色  
藤村弘子 RUIN I  
伊東ゆりか A BEAM  
鍔本純一 STILL LIFE(d)  
青木道夫 無明白  
長岡一豊 人形のある静物  
佐藤尚樹 木馬  
大村光 地上に神殿はない  
庄司健一 けだるい午後  
鶴見厚子 アブラクサス  
石川俊一 高原の月「B」  
船井由貴枝 静物 I  
吉見博 家族  
佐々木薰 しゃらしゃら  
岡崎孝彦 折り折りの記憶(B)  
原秀一 見物人  
吉浜正雄 PALETTE  
新井恵子 A FIELD  
池田浜子 PEOPLE  
三塙寿子 涌き立つ鳥(1)  
奥田紘 ブラウン管に絡るトリオ  
山手政男 内部分 I

亀井まどか white dots  
たくし盛勇 山がなくなる「寄を守れ」  
男谷省吾 カツチヨ  
加藤幸寿 人間思考82-Ⅲ  
菅原千恵子 博物館(Ⅰ)  
小野芳弘 あまつどねす  
萩原和子 まどろみ  
泉谷淑夫 カーブ・ミラー  
柏木隆一 幻想花  
高橋和夫 風の中の記憶No.1  
西川美智子 鰯I  
宮田翁輔 開発地Ⅱ  
月岡和子 キリストの十字架降下  
椎名涼子 MY Space  
加藤恭夫 時  
菅野昌實 スタジアム  
奥西賀男 枯草(Ⅱ)  
大久保俊夫 車中にて(影)  
九多持 ゼフィルスⅡ  
臼井恵之輔 APART82-7  
松村美保 愛が私に語りかけるもの  
岡崎義弘 めんず'82  
石川聰 ROLLING-II  
志村敏子 女達の肖像I  
南部正美 憔  
海野博子 回転扉  
尾形圭介 まつりの修復  
北久美子 遠い響き  
尾竹由己 work-E-3  
野口幹夫 なにみているの  
原田敬一 Blind wall  
木村信吾 啓示  
荒木明子 AT the party  
武藤政彦 放心と行進No.1  
小松旭 作品No.1

#### 〈水彩画〉

雲瀬洋市 蒼  
藤本敬一 此実月天に捧ぐ  
青木登史男 雄牧の聖跡  
桜井広城 冬野  
HIROKI MORINOUE  
STEPPING BLOCK

#### 〈版画〉

加藤豊紀 movement No.A  
高垣秀光 Breaking-I  
寺田有恒 泉  
青木達 coming home  
横井清賢 雪どけ  
大島弘義 誰も知らない私の悩み  
坂本佳子 静物(B)  
静物(C)  
山口柚 女ーあるときNo.2  
黒川洋 太陽風(Ⅲ)  
松野登美子 Pastoral poemNo.1  
郡司宏 偽足  
高橋博一 貝のある静物  
長沢康子 装飾古墳の追想 I  
雙田実 UFM(2)  
矢田博次 My friend-興行師とその仲間  
赤羽智子 水の中の種子  
工藤忠孝 町Ⅲ  
宮原勝則 SPECE(IV)  
金沢博 アトリエシリーズ④開かれた手  
内藤克美 私とわたしー1  
石塚啓一 好敵手  
梶山文伸 公園にて  
杉山一夫 ヨコスカ・外人のいる公衆浴場  
利渉重雄 透きとうつた闇  
秋庭宏行 テュエット  
宮越薰 夜  
藤田修 Handkerchief  
日向野桂子 こんにちわ

金 光 広 ARROW  
 後 藤 通 之 BODY MAP(Ⅲ)  
 平 木 美 鶴 アイふるナワナワ How toもりつけアイ  
 岳 盛 正 樹 歪んだ兵士(そして彼は少年だった)  
 太 蛾 亜 美 当世あにまる譚賭場荒し  
 市 川 有 子 夕映の湖  
 森 弘 子 さまよう空間 I  
 小 清 水 量 造 Transference C-8207

〈彫刻〉

菅 原 千 恵 自己愛  
 松 本 雄 治 天翔ける女神  
 川口シノブ 静  
 高 橋 忠 エツ子  
 田 口 貞 子 貞理さん  
 金 子 篤 司 ゴール前  
 植 木 考 二 O·N·NA '82No1  
 岩 本 肇 若い男の首  
 小野田 勝 盛夏  
 泉 公実子 帽子  
 清 水 幹 子 トルソ  
 尾 谷 耕 一 女  
 酒 井 道 久 明日あたりから始めよう  
 宇佐美 明 女立像  
 岩 谷 学 腕を組む女  
 大 村 富 彦 1980年・夏・千鶴  
 宇 野 務 浜の詩  
 高 田 大 思い出  
 小 杉 芳 功 CINALA  
 大 河 政 満 pisică〈虚と実のエチュード〉  
 平 井 一 雄 大地  
 杉 英 行 道標  
 杉山三佐子 胎児、その1  
 村 上 博 史 母子像  
 竹村真理子 花冠り  
 檀 醍 騞 遺構

〈立体造形〉

小 柳 幹 夫 space of corner  
 窪 田 俊 三 不定称(Nip)  
 渡 辺 邦 夫 立ち上がる形—PULSE  
 木 島 英 治 歪んだ平面2  
 大 北 利 根 子 嘘八百の自立  
 村 上 慎 二 作品G  
 山 本 秀 夫 The Magical Mystery Figure  
 木 村 巧 空間と時間が色褪させて影となるもの  
 曾 根 光 子 PRESS  
 笠 井 啓 子 invitation  
 人 首 康 二 態・起  
 倉 橋 利 明 流域 KI  
 ツジキミユキ シゲキ  
 前 島 健 治 存在について  
 古 川 公 彦 開かれた直角三角形  
 茂 木 晴 子 力  
 平 岡 悅 郎 Action and Reaction(反応)  
 伊 東 直 昭 標本No2  
 伊 藤 晴 実 WORK-82-7  
 高 橋 勉 間隔空間  
 倉 橋 元 治 儀式(二)  
 かじやま・こーじ 空化  
 小 林 重 之 作品III  
 男 谷 浩 一 足跡は語る  
 大 川 幸 男 無題  
 渋 谷 英 文 NON  
 永 登 基 記 aria condizionata  
 大 島 友 二 (無題)  
 高 澤 正 行 LA TAGLIATURA  
 伊 沢 晓 美 to tieのA  
 金 森 信 昭 間  
 守 谷 春 美 感触による作業 機能の独立化  
 サナダサダヲ 作品"82=客体  
 斎 藤 光 弘 25、25<sup>2</sup>、25<sup>3</sup>  
 柏 沼 州 良 要  
 勝 又 豊 子 風化  
 隠 地 俊 樹 半球の二等分による螺旋球  
 宮 田 優 創

## ■審査経過

### 〈日本画〉

今回は日本画の搬入点数は前年度より38点も多かった。然し陳列壁面は増えたわけではないので可成り厳選となつたのは致し方なかつた。全般的な絵の傾向としては、いろいろなものがあつて全く現代日本画の縮図を尺るようであり、それだけに非常に変化に富んでいる。各自それぞれ違つた方法で自己を主張しあつていて、いわば他流試合の面白さがあつて一般の団体展などと違つた県美術展の一つの大きな魅力となっている。

中には表現の結果を余りに急ぎ過ぎて残念ながらそれが不発に終つたり、或いは対象そのものを描く事だけで精いっぱい表現までに至らないうちに力盡きたというような作品も何点か見受けられた。

日本画の場合材料その他の制約や条件などがあつて、自分の意図するものを端的に一発で表現の目的を達するという事はなかなかむつかしい。即座に意欲のあもむくまま情熱の迸るまま画面にたたきつけるという風にはゆかないである。それを画面にしっかりと定着させるまでには可成りの時間と努力を要する。効果をはやる気持をじ一つとあさえ、心の底に沈潜させる冷静さというのも日本画の一つの修業ではないかと考へる。

今回も若い人達の作品が多かつたようで、それが可成り充実して来ており面白かった。最も感受性が鋭く又想像力の豊かな世代であるから現代という時代意識を肌で感じているようだ。だから若者でなければ出来ないような発想と表現があつて、これはどうする事も出来ない若さの特権の一つであろう。多少の破綻はあるにしてもそれをカバーする何カキラキラする一種の新鮮さが作品の魅力となつてゐる。中には意至って筆至らずといったもどかしい作品もあるにはあつたが、この若い人達への期待と共に感は今回の審査する者の一致した気持であつた。

工藤甲人

- 審査員 片岡球子・加藤東一・工藤甲人・竹田道太郎
- 搬入点数 132点(100人)・入選点数 42点(39人)

## 〈洋画〉

第18回展に搬入された作品群は近年になく活気に満ちて大作は目だち、力作も多くあった。これは私だけの印象ではない。審査にあたつたすべての先生方の感想である。

県美術展の歴史は決して短いものではない。当然のことのように世代の交替もある。今回はそういう傾向が明らかに見え、入選者をみてもいわゆる常連という方が極めて少なくなつたようである。

本年は5部門に一つの大賞が200万円になったことも、今回の活気の要因になったであろうが、いずれにしても新たな動きはよろこばしいことに違いない。

出品点数668点、入選は82点であった。入選率は12%ほどである。これは大へんな厳選である。今回は大賞、準大賞とも洋画部門で獲得した。

大賞となつた「冬の木」の小泉正彦氏は、平塚養護学校に勤務する27才の青年である。作品は一見して19世紀初頭ドイツの幻想的な風景画家カスパー・ダヴィッド・フリードリヒを思わせた。白い空間に細密に描かれた一本の樹木は孤独な巨人力。現代人のある心理を表出しているようにも思えた。全くの新人であり将来が楽しみである。

準大賞の星兼雄氏は安井賞展に出品されたペテランであり、すでに二回目の準大賞であった。新しい境地への一つの轉換が明らかに見えた佳作であろう。

特別奨励賞の佐藤武氏の透明な点描法による「風景」は、見るものをほっとさせるさわやかな魅力があり、今までにない傾向の入賞作品である。

低调な抽象作品のなかで鶴見厚子さんの「アブラクサス」は注目すべきものとして印象に残った。

國領經郎

●審査員 相笠昌義・奥谷博・國領經郎・勝呂忠・匠秀夫・  
弦田平八郎

●搬入点数 668点(364人)・入選点数 82点(82人)

## 〈版画〉

今年度は出品点数も作家数も昨年度を超えたが、入選点数は昨年度とほぼ同数であった。出品作の技術度水準は平均的に高く評価されたが内容的な面や、造形思想的な面では特に高く評価されたものが少なかったように思われた。モノをアナログに転化せる力、即ちイメージの力の不足やアナログからイメージ的魔力を取り去り、もう一つのモノとして示す力のエネルギーが感じられないと言ふ声が審査の過程で聞かれた。

かつてエルサレバドルの公使と女性画商にお逢いしたときエルサレバドルの国家では造形思想とその理論は全てキュービズム以前のものであると聞いた。サルバドルと言ふ土地、そこに住み生活して来た民族の中から生れそして育った民芸はあるがそれはあくまでフォークアートでありファインアートと厳しく区別されているとのことであった。後にこの公使はサルバドル国家の文部大臣になられた。このことはエルサレバドルでは国家としてはキュービズム以前の絵画は絵画芸術としての位置づけを持たないのである。現代の絵画はシユールレアリズムやキュービズムを通過した場にあるとされている。日本の現代絵画はシユールレアリズムやキュービズムの理論的造形思想や文化論的、思想的、哲学的把握の上に立つ制作経験に乏しく、感覚的に通過して来たとは言えまい。このような基盤からは、なかなか次の新しい作品の強力なエネルギーを生むことは困難なことのように思えるのである。

マルセル・デュシャンが1917年に白い便器からその機能を取り去り「泉」と言ふ題名でニューヨークの美術展で発表してから66年になる。ヒトがモノに附加したエネルギーを取り去って再びモノとして提出したのであろう。観念芸術のはじまりである。しかしその後60年以上も経た現在デュシャンやマンレイやポップアーティスト達の作品を感覚的にまねた作品がある一部の人達から前衛作品と呼ばれているのは全く日本の特殊な環境状況によるのか不思議に思えてならないのである。そこにもエネルギー喪失の原因の一つがあるように思える。前衛と呼ばれる作品が前衛と言ふ土藏の中で過保護にあたためられている限り新しい力は噴き出して来ないのである。

田島宏行

●審査員 岩見禮花・斎藤寿一・高柳裕・田島宏行・柳生不二雄  
●搬入点数 174点(74人)・入選点数 40点(37人)

## 〈彫刻〉

今年の搬入点数は70点、その内29点が入選しました。昨年に比べ多少減っていますが、応募作品にはそれぞれ力いっぱいの努力がうかがわれ、作品の大型化が目立ち全般的にレベルの向上が見られます。中には1人で数点も出品するなど、その造型意欲に心から敬意をいただきました。これは着実な積み重ねの研究をする人達があらわれた結果であり、一つの前進でもあると思います。応募作品のうち、実験的に近い作品等は多少の難があっても審査員一致してこれを歓迎しました。技術的にはよくても焦点のぼけている作品、着色に無関心である作品などは残念ながら選外となりました。入選作品の内容は更に充実しどんどんどの作品は一定のレベルに到達し、若い作家の進歩がめざましいものがあり、意欲的な新人を加え得たことはよろこばしく思います。

美術奨学会賞に選ばれた坂井匠子の「すわる」はテッサン力の確かさ、新しい感覚によって生み出された秀作です。すべての美術の基礎であるテッサン力を作家がもっているか、いないかで作品にその差が顕著にあらわれます。

その他賞となつた尾谷耕一の「夢化石」、酒井道久の「カロリンのやり方」いずれも独特の力量を示した作品ですし、今後に期待のもてる作家と云えます。

県美術展の彫刻に寄せる期待は大きいものがあり、真剣に、より本気で造型の本質を掘り下げ、創造性から生まれる力強い新鮮な作品を望む次第です。

陶山定人

- 審査員 井上信道・垣内治雄・陶山定人・三上次男
- 搬入点数 70点(46人)・入選点数 29点(27人)

## 〈立体造形〉

美術展の審査員といふものに初めて参加させてもらった。今回は昨年より搬入点数が26点も多いということで、作家にとっては若干厳しい状況にあつたことを報告しておかなければならないだろう。飯塚八朗、斎藤義重(審査委員長)、吉田克朗それに私の4名が、最初に一応全作品に眼を通し、その後別々に作品を選定し、最後にそれを集計するという方法がとられた。私は何も考えず、「良い」と感じられた作品をできるだけ短時間で選んだ。迷つてしまわないためである。一回目の集計で34点が決った。原則的に一作家一点というかたちになり、若干余裕があるということで各審査員がさらに二点ずつ選定することになった。これは迷つてしまった。最初の選にもれた作品をあらためて見直してみると、ほとんどが捨て難いものを持っているからである。第二回目の集計では結局7点が選定されたが、これらの作品にこそある意味で各審査員の「好み」がはつきり反映されているといえるだろう。入選計41点、われわれの精一杯の結論である。

選にもれた作品で、別の美術展だつたら間違ひなく入選していたりと思われるものが何点かあった。また選定後委員長が「やりすぎてしまうのがありますね」とボソリと言つたが、審査員一同同感だった。力が入ってしまうのだろうか、もう一・二歩手前で止めておけば発想の柔軟性が伝つてきたのにと思えた仕事も多かつたからである。これらを含め良い作品が多いのに驚いたし、ちょっとしたことでわれわれの眼にひつかつたりひつかからなかつたりするものだということを実感した。逆に言えば、選にもれたからといって自分の表現手段や方法を変えてしまう必要は少しもないといえるだろう。自分で良いと思った作品だけを選定し、結果が出た。審査員初体験、何が何でも犯したような気分になっている。

秋田由利

- 審査員 秋田由利・飯塚八朗・斎藤義重・吉田克朗
- 搬入点数 82点(58人)・入選点数 41点(41人)

工芸  
書写真

■ 2期展：2月9日→2月20日





大賞 ■ 井上隆敏 イグナドバ選手（写真）



準大賞 ■ 鈴木三成 青瓷平鉢（工芸）

老樹春上綠 萬籟春風拂葉掩聲  
弄畫眉蘆女鶯多在 鹽鷺孫娘笑不休  
徐公蝶粉重 堪懷夢閑歸去  
一般醉亂黃昏月 猶發宿愁愁未平  
猶憶竹 依於湖畔垂楊處  
舊時人舊物 一夕殊芳樹紅仍在  
石碑可因風雨倒  
北岸向開手 望錢塘城故鄉  
春山岸國公舟無船 舟騎馬勤  
急急急直使心急急  
酒在多愁何處寫 手  
元好問詩

武田清美

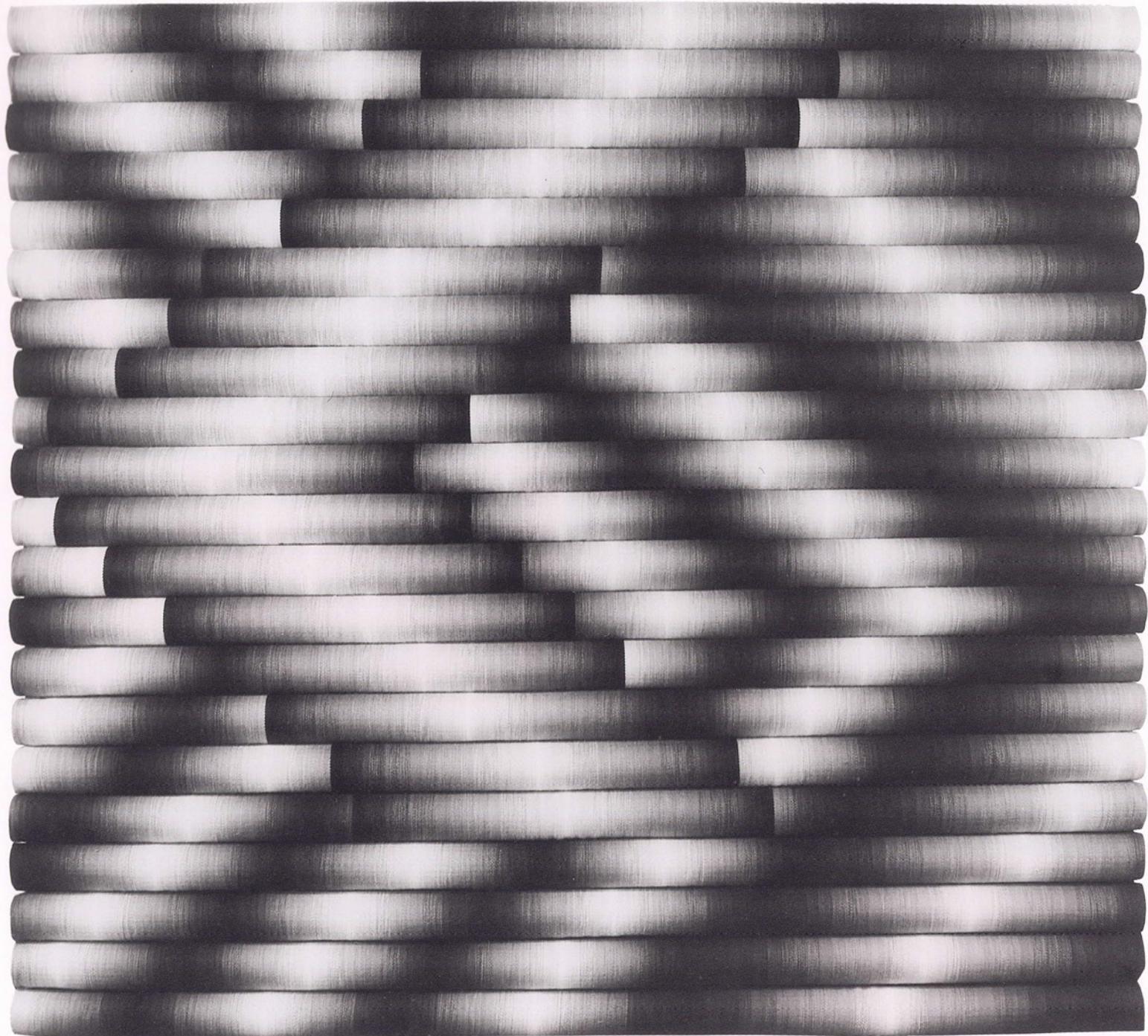
書

韓愈詩秋懷詩

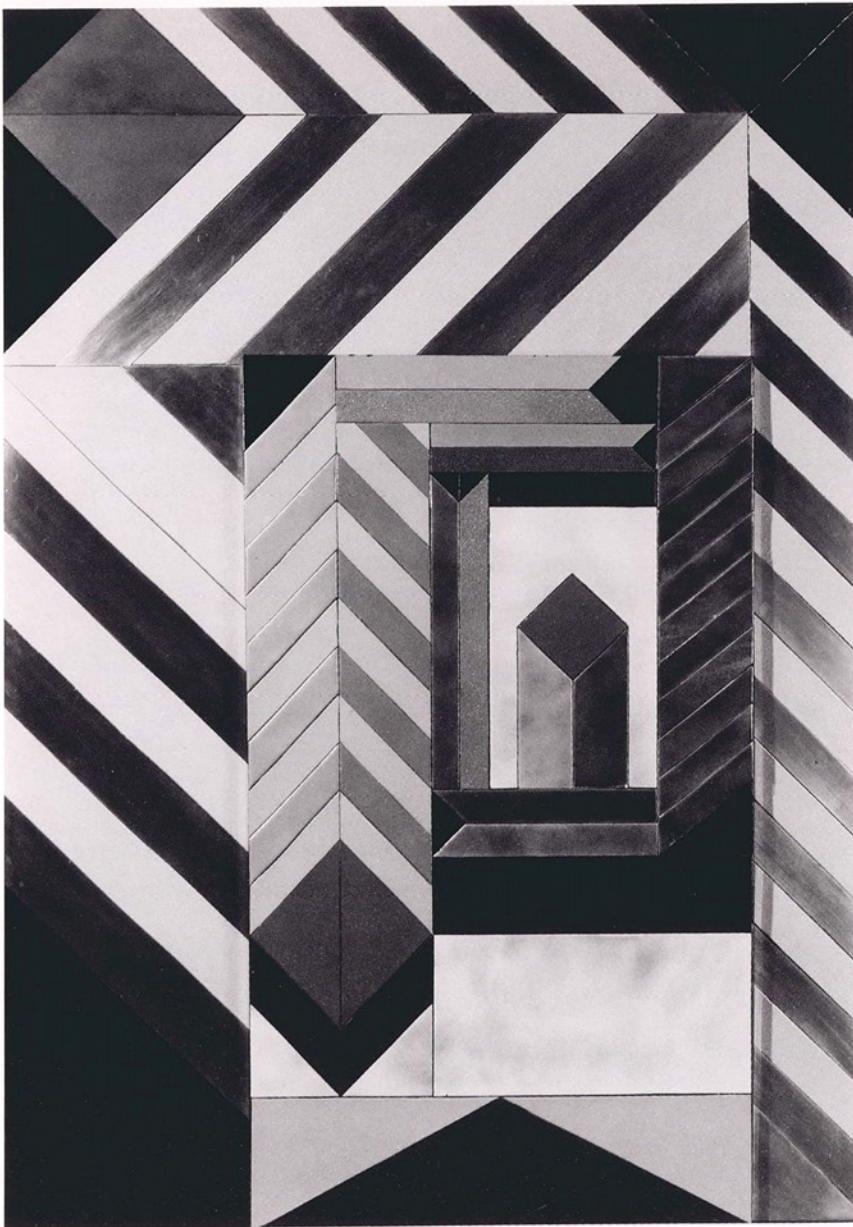
蘇軾書

蘇軒書

特選 ■ 原 茜處 韓愈詩秋懷詩（書）



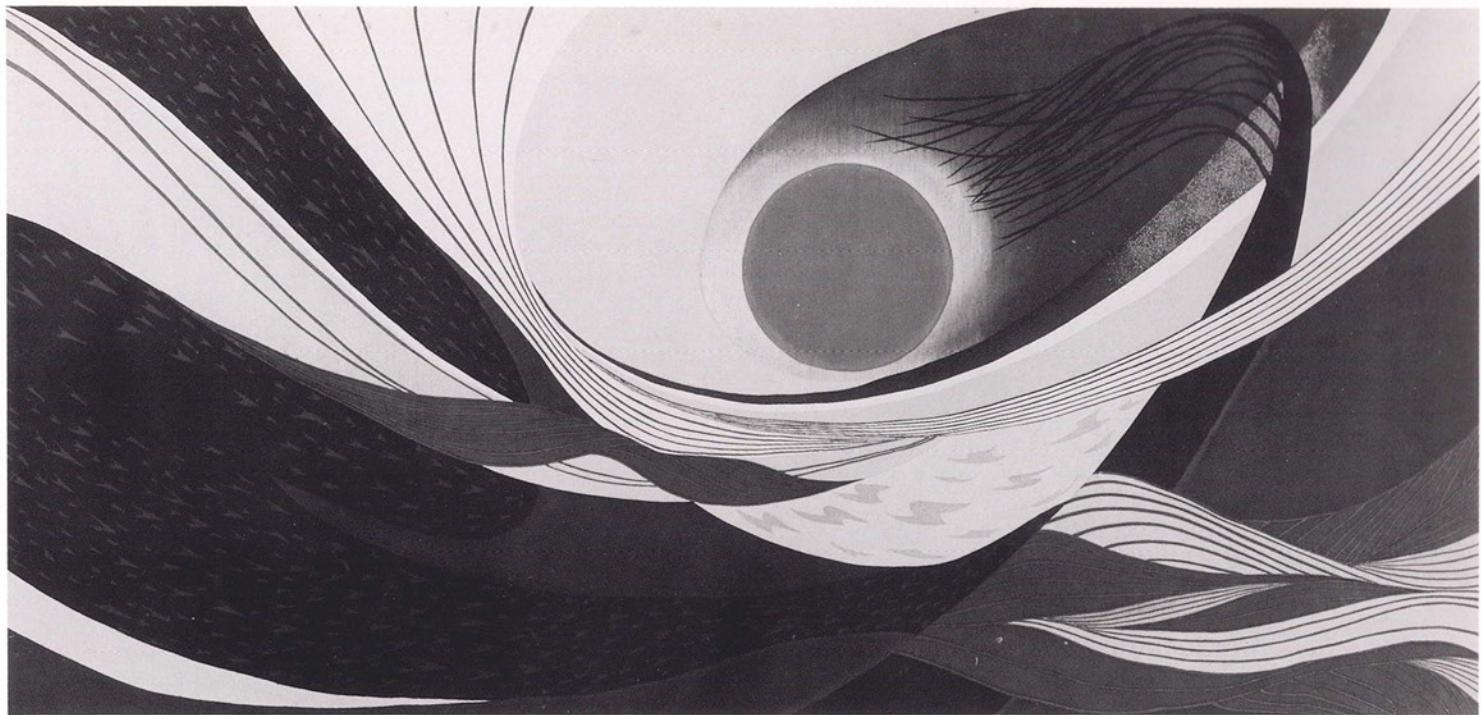
県議会議長賞 ■ 永井ひとみ FLASH (工芸)



美術奨学会賞 ■ 高橋あつ子 空間と立体（工芸）



美術奨学会賞 ■ 望月正子 憧憬(釦壺)



美術奨学会賞 ■ 窪倉えつ子 染額「翔」(工芸)



美術奨学会賞 ■ 照屋和那 乾漆点文描彩鉢(工芸)



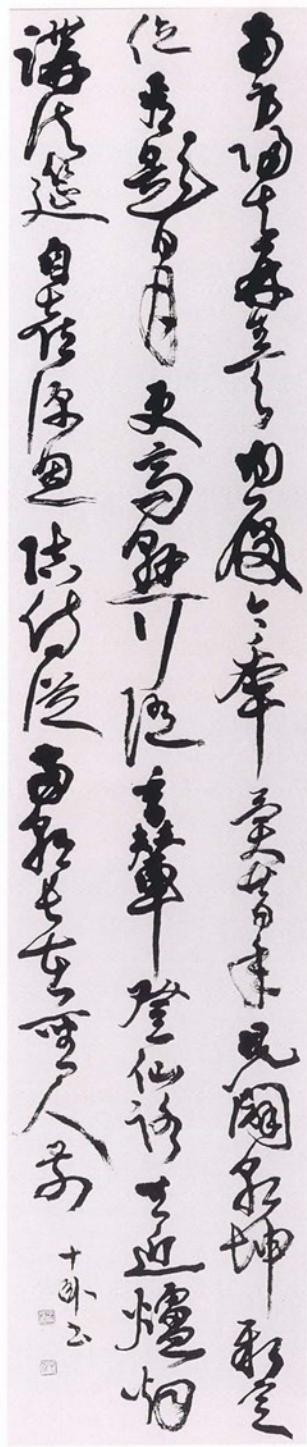
美術奨学会賞 ■ 大木 曜 旧約聖書・詩篇より（書）



美術奨学会賞 ■ 小林公子 リズム(工芸)



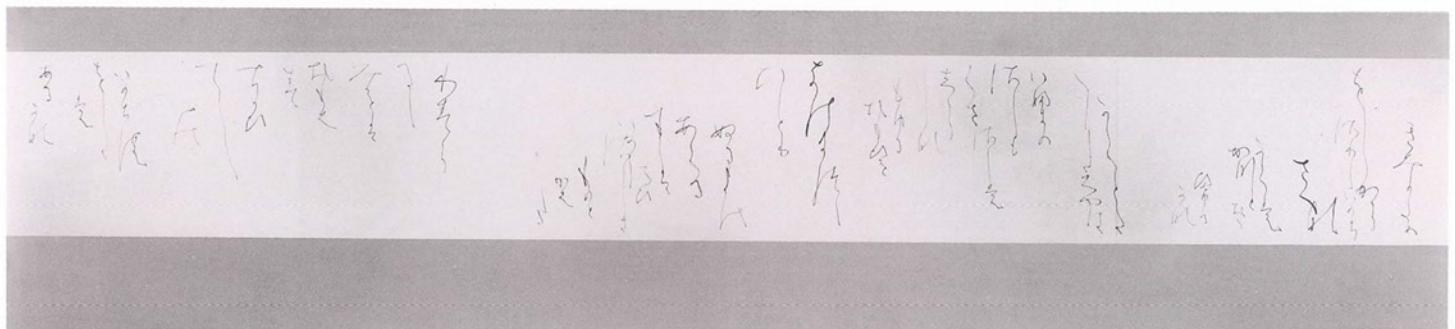
美術獎学会賞 ■ 星 光陽 夏目漱石詩 無題（書）



美術獎学会賞 ■ 平田十臥 沈佺期詩（書）



美術奨学会賞 ■ 陳 撫鳳 白居易詩（書）



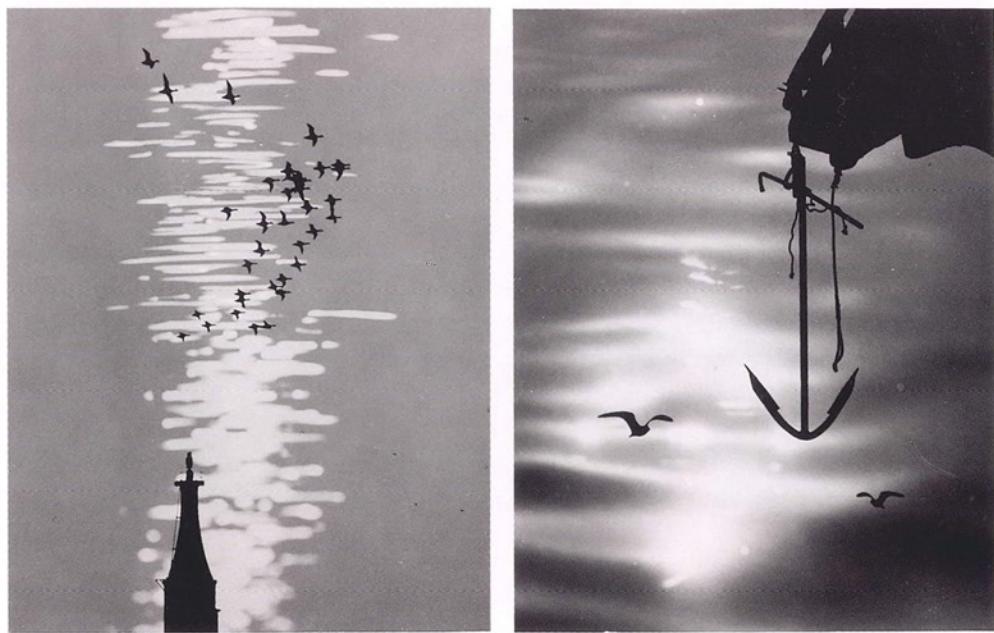
美術奨学会賞 ■ 豊崎花塙 百人一首より（書）



美術奨学会賞 ■ 三井文一 富士雲（写真）



美術奨学会賞 ■ 望月勝美 キャベツ畑（写真）



美術奨学会賞 ■ 梶 渚 早春の海（写真）



美術奨学会賞 ■ 清水 光 鬼気（写真）



美術奨学会賞 ■ 中西栄造 酔うほどに（写真）



美術奨学会賞 ■ 沼田 清 童子誕生（写真）



美術奨学会賞 ■ 藤倉忠明 下栗の四季〔伊那谷遠山郷〕(写真)



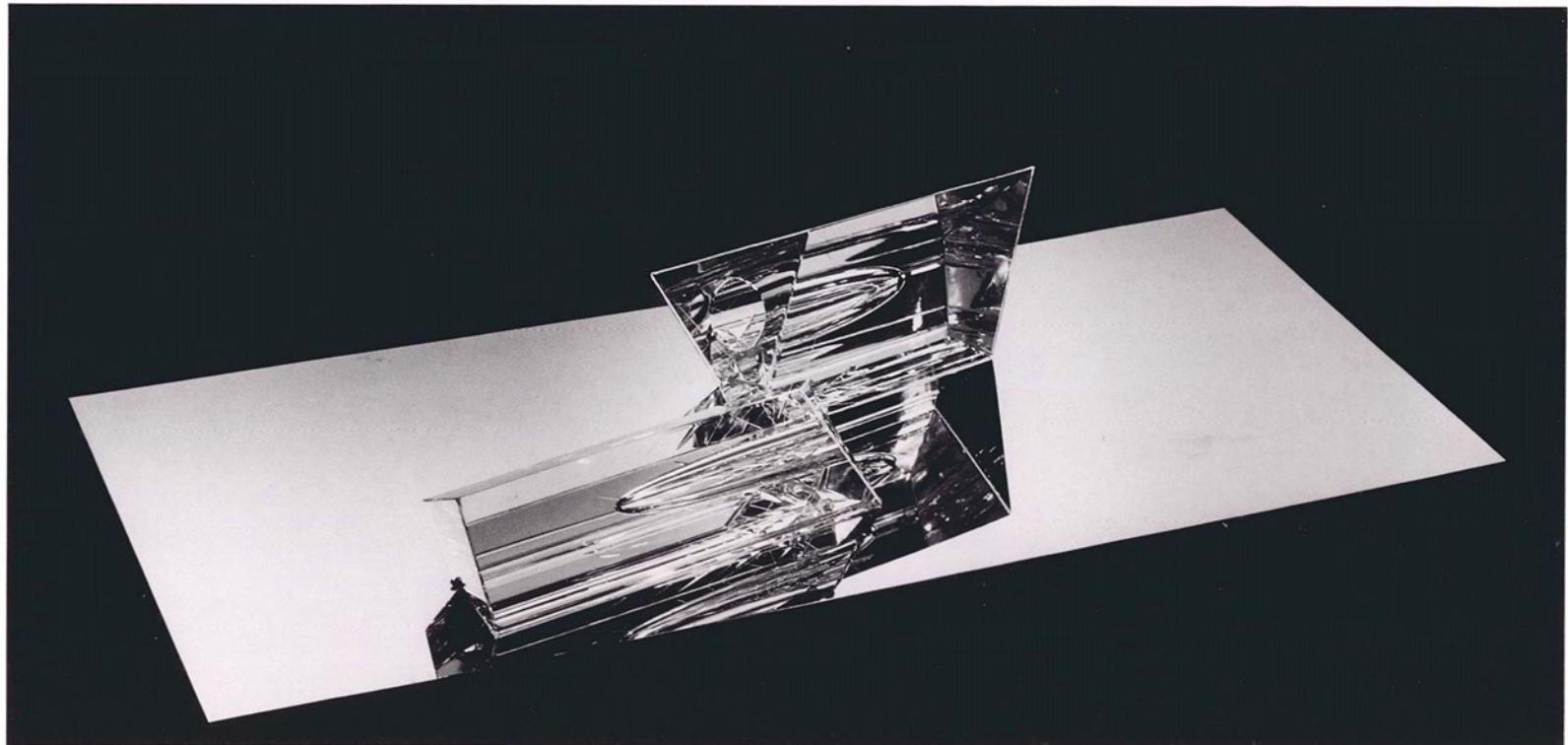
美術奨学会賞 ■ 清水啓一 傀儡師(写真)



美術奨学会賞 ■ 堀坂和夫 躍動（写真）



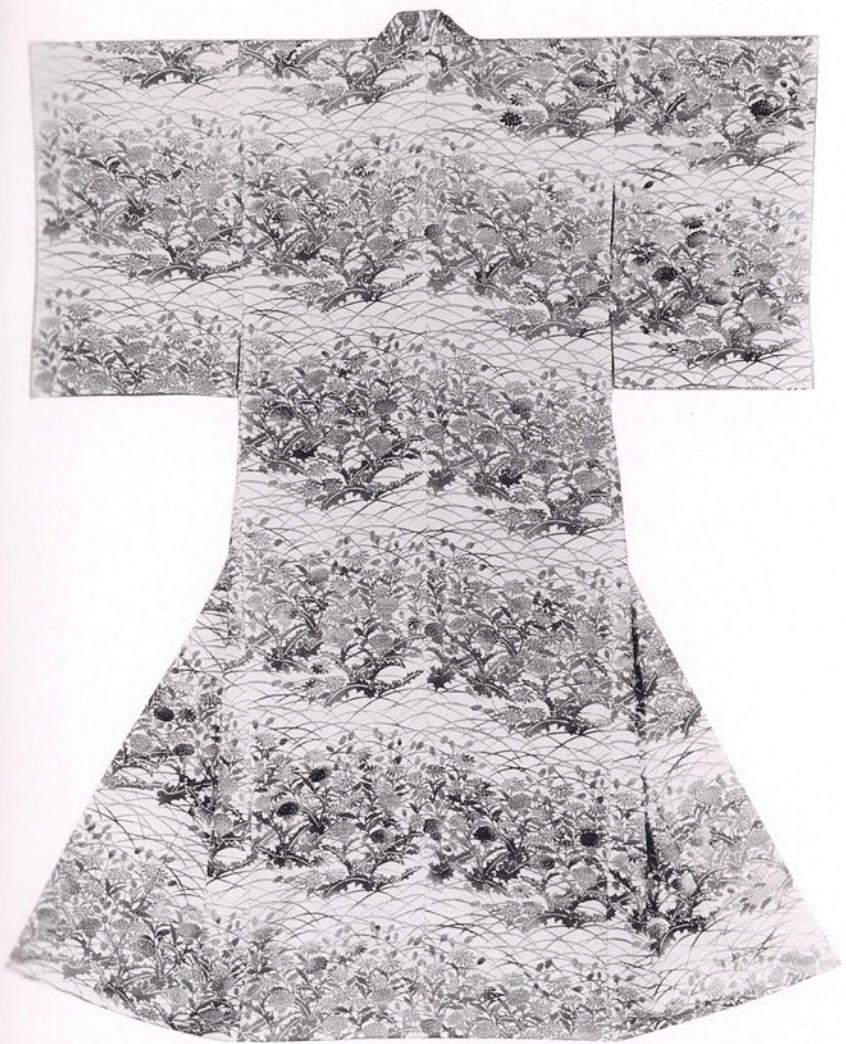
美術奨学会賞 ■ 千葉久男 若者たち(青森ねぶた)（写真）



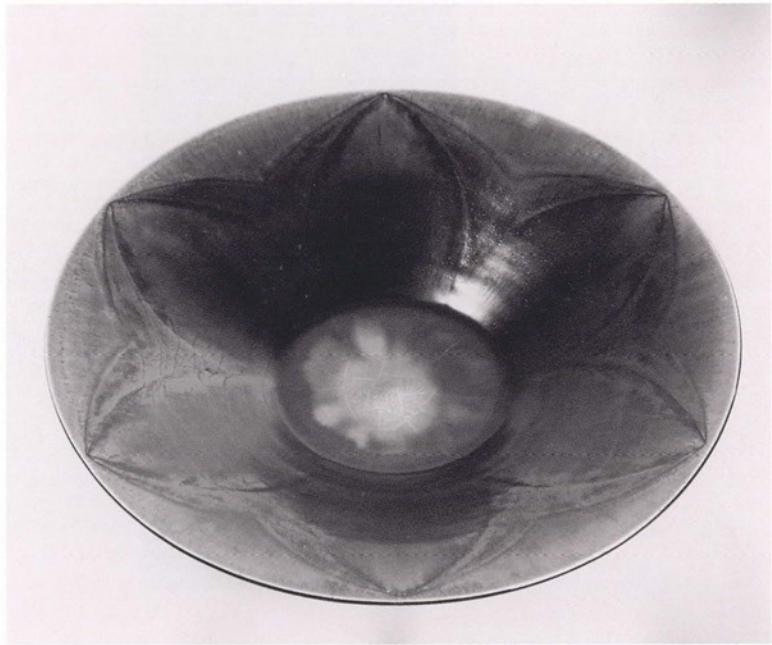
特別奨励賞 ■ 柴崎信太郎 Spectre Ornament 光芒一錯綜する軌跡(工芸)



特別奨励賞 ■ 鈴谷茂翁 濡原ノ舞 漆箱(工芸)



特別奨励賞 ■ 大野茂登子 型染訪問着 初秋（工芸）



特別奨励賞 ■ 今野登志夫 緑釉象嵌花文鉢（工芸）

詩吳子家外祖有詩錄于鄉之流譜銅版印就此以贈予鑒  
入活潑古風口授詩多傳承鑒定其後數年其然蕭何作  
序石鼓文舉人多知山馬八蹄踏蘋花指掌行誰能見在空艤  
越長鶯絕是明晨曉含飴德君雲日征塵暮道一毫長短少  
一人如如若空秋也一層誰是誰無賴  
照神歸急急歸急急誰是誰無賴  
照神歸急急歸急急誰是誰無賴

■



特別獎勵賞 ■ 三津木芝影 吳讓之詩（書）

特別獎勵賞 ■ 佐藤柚凪 李長吉詩（書）

春深草木綠長春

山高興起萬重雲  
多綠樹的而翠色依然

生直待君歸客  
直到千千疊遠路

始便上陽山被思  
始便上陽山被思

在人忘軒冕  
何逢傷敗蕙草衰

含英滿元輝追  
晴雲不乘輶隨船

草衰君忘執  
高節渺渺以何

西風車駕空邁  
德清長道空虛

茫茫風搖百萬尋  
遇此故鄉無不

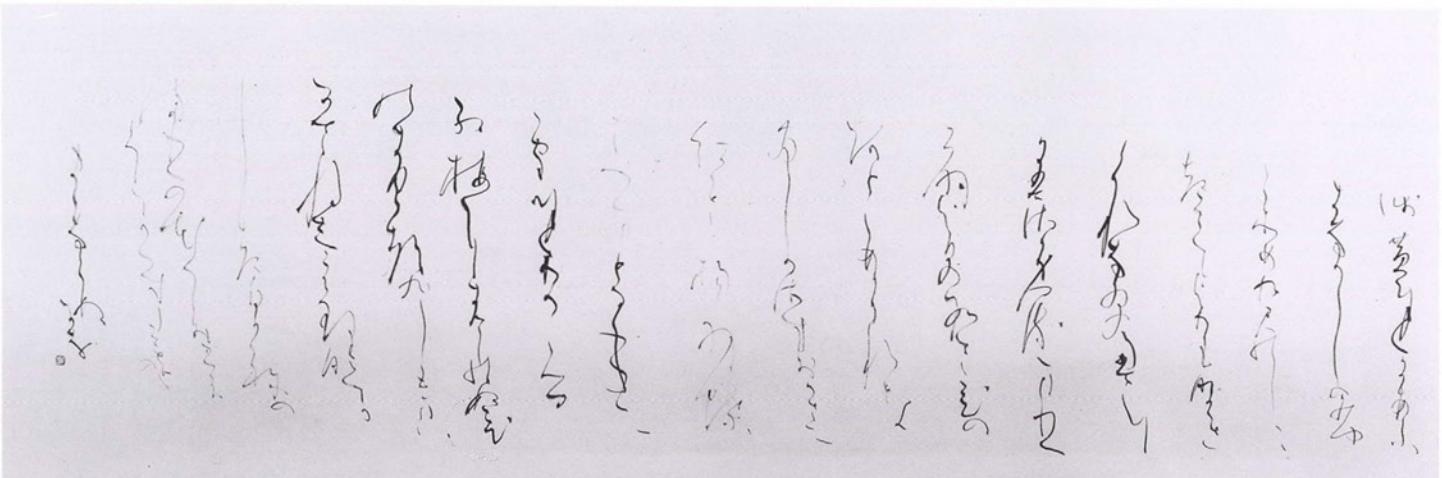
遠若盛衰無有時  
主身苦在年全全

非全但苦之能生矣  
考老白隨意作

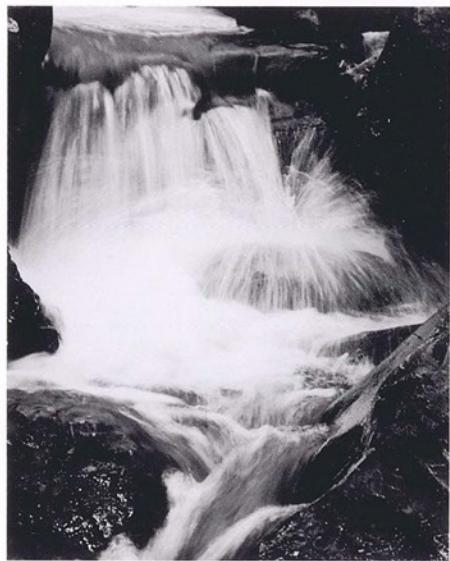
名古屋實業高等女校

特別獎勵賞 ■ 阿部跳龍 漢詩（書）

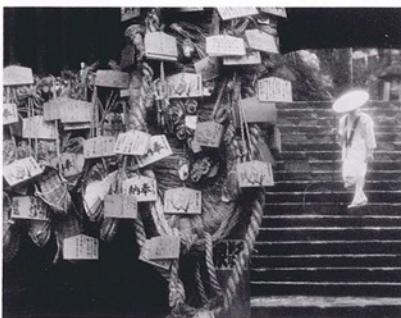
145 筆記



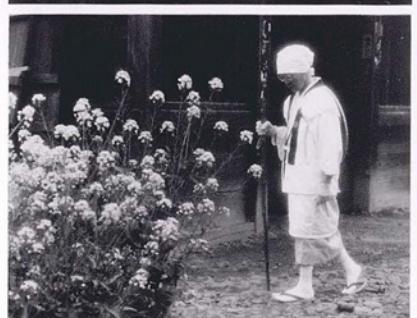
特別獎勵賞 ■ 柳澤弘子 浅黃地に（書）



特別奨励賞 ■ 内田幸夫 流（写真）



特別奨励賞 ■ 川口弘純 巡礼の里（写真）



## ■受賞作品目録 〈工芸・書・写真部門〉

### ■大賞

井上 隆敏 イグナドバ選手  
(写真)

### ■準大賞

鈴木 三成 青竜平鉢(工芸)  
武田 清美 元好問詩(書)

### ■特選

原 茜処 韓愈詩秋懷詩  
(書)

### ■県議会議長賞

永井ひとみ FLASH(工芸)

### ■美術奨学会賞

窪倉えつ子 染額「翔」(工芸)  
照屋 和那 乾漆点文描彩鉢  
(工芸)  
望月正子 憧憬(釣壺)(工芸)  
小林公子 リズム(工芸)  
高橋あつ子 空間と立体(工芸)  
星 光陽 夏目漱石詩 無題  
(書)  
平田十臥 沈佺期詩(書)  
陳 摂鳳 白居易詩(書)  
大木 曜 旧約聖書  
詩篇より(書)  
豊崎花塙 百人一首より

藤倉忠明 下栗の四季[伊那  
谷遠山郷](写真)  
清水 光 鬼気(写真)  
沼田 清 童子誕生(写真)  
梶 渚 早春の海(写真)  
三井文一 富士雲(写真)  
堀坂和夫 躍動(写真)  
中西栄造 酔うほどに(写真)  
千葉久男 若者たち(青森  
ねぶた) (写真)  
清水啓一 傀儡師(写真)  
望月勝美 キャベツ畑(写真)

### ■特別奨励賞

柴崎信太郎 Spectre Ornament  
光芒一錯綜する軌跡(工芸)  
大野茂登子 型染訪問着 初秋  
(工芸)  
鈴谷茂翁 湿原ノ舞 漆箱  
(工芸)  
今野登志夫 緑釉象嵌花文鉢  
(工芸)  
阿部跳龍 漢詩(書)  
柳澤弘子 浅黄地に(書)  
三津木芝影 吳讓之詩(書)  
佐藤柚処 李長吉詩(書)  
内田幸夫 流(写真)  
川口弘純 巡礼の里(写真)

## ■入選作品目録

### 〈工芸〉

咲田卑弥子 1500光年  
吉田きみ子 秋よりの使者  
相原弥重 まろやか  
田野佳代子 市の風景  
中島光雄 佛典讃華  
橋口義昭 宙吹硝子青縁花器  
井上 達 山道  
林 巨 クリスタル花器「春暉」  
徳江節子 美しきもの見し人は  
鈴木 巨 練上壺  
岡田 稔 蹤裂  
大塚和代 銀研出18稜皿  
小林望子 伸  
上曾敦子 松風  
高橋要子 ゆめ  
斎藤由一 透胎七宝みのり二号  
武井和子 童神  
矢内寿津子 天地  
保田重徳 扁壺I  
富田聰子 麗銀匣「緑影」  
佐藤秀雄 七宝壺  
真木孝成 彩色花器  
武田春比古 鉄釉流線文壺  
坂井輝夫 青竜壺  
中谷安子 垂天三竜壺  
岡田由美 モアラート  
内田悦代 舞台  
芥川美千代 月下笑風  
加藤静子 細長着「麓・夕暮」  
上西栄子 彷彿  
山口蓉子 漆皮  
甘糟憲正 拭漆燭小卓  
長谷川富美子 沈黙の生命

江成房子 慈  
亀井知子 万華鏡  
斎藤茂 柿釉壺  
大川久枝 有線菓器  
出繩高昭 ジュエンパートI  
足立治男 塩釉練上壺  
西原清志 平文校倉盛器  
渡辺京子 銀線七宝螢袋文ふた物  
馬場芳道 象嵌つぼ  
稗田輝子 顔  
南雲陽 時の碑  
村雨昌子 潮  
吉崎僚一 花三島皿  
尾留川忠 錬倉彫鉢  
奥田光代 宇宙の散歩  
尾島英雄 長方角皿  
倉田俊一 栗造拭漆稜線短冊壺  
吉川則夫 流映  
黒沢伸子 春のうみ  
渡辺あい 寂光  
上田菊明 ステンド・アラベスク  
長澤義春 渦潮  
野口厚 LEFT ALONE  
佐々木達行 三島魚文壺  
川村伊保江 彼者誰時  
森岡ゆかり 光界  
三輪博子 希望  
飯塚みゆき 初秋の石狩川  
片山良子 Summer-'81:  
大原乾資 染藍染白彫り型袖着尺  
澤井幸男 練上叩き壺  
川村由海 白雲釉鉢  
高木参平 化粧彩磁壺  
河野あや子 茶釜のれん  
前仲邦哉 白竜壺

前仲万里子 象嵌食籠  
佐護妙子 バロックの夢  
谷田部君江 女ふたり  
青山常昭 松に波文香合  
加納長作 練上壺  
石川武士 風韻  
青山常代 龍栗の幻想  
八ツ橋博美 灰釉壺  
菊田明 幾何文象嵌陶笛  
北田博美 梅冠者  
清国律美 乾漆八角食籠  
中山啓子 流星  
木下もと子 海山文紬帯  
水越しげる 秋のけはい  
竹村滋 '82. ブルー、  
永井建雄 練上皿

### 〈書〉

泉昭子 小島切  
木田南岳 良寛詩  
河村康子 春夏秋冬(古今集)  
増田八重子 和歌相模集ほか  
栗橋東崖 圓々曲(吳偉業の詩)  
今本早智子 短歌一首  
佐野修子 カラ松  
矢追章子 葡萄  
長島正恵 西本願寺卅六人集齋宮集  
明石蕙州 寂蓮の歌一首  
泉金映 福寿草  
松田松逢 良寛の歌  
中澤碧怜 斎藤茂吉の歌  
竹田華堂 和歌一首  
成瀬映芳 伝小野道風筆臨小島切  
脇本晃華 臨針切

美和肖光	臨拾遺抄切	外山翠嵒	岑參詩	住本稀芳	小さい娘の思ったこと(茨木のり子)
田辺翠香	臨高野切第一種	竹俣華嵒	傅山漢古詩	田中久美子	秋
中村暁雲	王漁洋の詩	河合瑞祥	張泌詩	為井蘭葉	ひとりぼっちのティー/パーティ(佐藤慶子)
中村蒼汀	王維詩	小巻仙空	蘇廷詩	吉川敦子	秋声
小川如泉	杜甫詩	津田嵐彬	玉華宮	田中亨	逸題 井伏鱒二の詩
杉山梅波	孟浩然詩	石田峯心	白居易詩	土田武子	啄木の詩「しらしらと」
瀬戸華逕	潘岳詩(皎皎窗中月)	山口清晞	杜少陵詩	千葉琴玲	かくいふほどに七月……
立神侯子	張祐之詩	神谷芝嵒	漢古詩	澤田剛明	野口雨情詩「磯の上」
荒井壽逕	李紳詩	高崎鬱嵒	蘇東坡詩	問馬敬竹	寂しさの詩(金子光晴詩)
斎藤杏花	許渾詩	池田撫草	吳偉業の詩	青木湘堂	蘇東坡杜介送魚
日野珠光	和泉式部続集より	大島謙介	劉蕡詩	吉沢菁斐	謝靈運詩
木戸梢光	古今集より	横山芳碩	劉長卿詩	阿部紅雪	李賀詩
松岡梅影	はごろも	林如巖	秋夜弄月	鳥海紅蘭	唐詩
吉川蕉雨	新古今集より	瀬戸翠谿	晚歌湘源縣(張泌詩)	荒井畔処	韓愈詩
山辺静塘	百人一首	森山可余	素朴な夢	杉山紫苑	杜甫詩
高橋蘭徑	百人一首より	萩村迪与	「村山槐多の詩」より	和氣清堂	陶淵明詩帰園田居其一
北島芳谷	臨西本願寺三十六人集伊勢集	坂間一之	白秋の詩“母”的一部	石坂梓果	唐庚古硯銘
清水蒼洋	金桺和歌集より四季のうた	山下和風	雨情の詩赤い靴	鎌田柊処	韋應物詩
松橋秋塘	新古今和歌集秋のうた	岩井明子	古今集ふくからに……	江原梅畦	李頌詩
長谷川青園	山居即事	上村仙石	窪田空穂集まひる野より波の香	尾崎靜鳳	蘇軾詩
石坂雅彦	邶風谷風	小野寺聖石	近代詩文書	生嶋靜月	王士禛詩
吉村瑞枝	李白詩古風	野田翠蘭	「うたたね」より	鈴木蓉処	李白詩
中村小葉	醉中對紅葉	川瀬魚石	心のふるさと・島田芳文詩集より	柴岡明洞	許渾詩
沓掛和絵	寒き夜	浜本茂	室生犀星の詩	舟山隨処	陸龜蒙詩
落合正峰	五言律詩(幽州夜飲)	朽木郁子	鞠とぶりきの独楽より	吉田翠山	戒冕詩
田村松石	山石(韓愈)	福井幽紅	江南春	森草坡	白樂天詩
新井青谿	秋登宣城謝眺北樓	吉浜薰	江行(傅昂霄)	嵐小丘	吳昌碩削瓢廬
柳木三石	良寛詩	石川藤子	石(西條八十)	府川恵美子	杜牧詩
力武秋雲	五言律詩	板橋恭子	糸車(北原白秋)	野頭莊雲	春江對雪
関口大湫	李白詩送裴十八圖南歸嵩山	川島喜代美	登樓(羊土謌)	田澤兆処	崔塗詩
鈴木秀雄	蘇軾詩	石井富代	葡萄のふさ(青木香流詩集)	大山青高	夜聽許十一誦詩愛而有作(杜詩)
吉田春翠	蘇軾詩	小松崎史子	春夜洛城聞笛	菅野堯処	許渾詩
尾家靖子	陶淵明詩	杉山幽翠	宴邊將(張喬)	近藤粹処	杜甫の詩
安藤蘆穂	李賀詩	戸村和憲	中原中也詩六月の雨	谷口春泉	唐彥謙詩
石井澄水	蘇東坡ノ詩	座間幽洋	望天門山(李白)	玉井佳香	李白詩月下獨酌

関口蘭香 亀雖壽  
増田溪雪 萬葉七首  
江川青漣 傳山之詩  
奥翠月 許渕詩  
田中照峰 李鄧七律詩  
室橋谿月 李煜作烏夜啼  
西田東穂 錄飲中八仙歌  
加藤翠郷 太行の路(白居易詩)  
山本花聲 傳山詩  
原田義鳳 董其昌  
三上光雲 石門碩  
八島幽月 削觚廬印存識語  
川越秋聲 金冬心詩  
山田愁風 金冬心  
関春宵 杜甫詩  
高橋利子 米万鍾  
斎藤泥石 七言絶句  
木下蕙芭 うぐひすの歌他二首  
三原和子 白すみれ  
大矢鳳城 自詠詩「良寛堂」之詩一首  
山本右高 何紹基  
土屋美智子 小島切  
布川周子 小島切  
本田明陽 劉廷芝詩・代悲白頭翁  
佐藤縁羊 杜甫詩  
橋本抱葉 應瑒  
津田京葉 古詩箜篌引  
茶木静谷 物薄情厚  
木須青苑 杜甫之詩  
高木幸子 うぐひす  
横山蘭葉 虞美人草

### 〈写真〉

松本栄一 錫物工  
片岡順一 ファンタジー  
高松幹雄 北穂燃ゆ  
本間英夫 嵴冬上高地  
向山康三 尾瀬深秋  
堀江忠男 馬毛島有情  
浦富男 水辺の営み  
山崎廣 下町の詩  
佐藤智昭 樹林  
高野捨吉 曰暈  
佐瀬勇 ススキの詩  
加藤栄子 蟬の誕生  
中矢忠雄 出会いの樹  
亀井貴司 山肌と緑の谷  
川久保欽司 梢秋色  
葛西清悦 傷ついた鷗  
中村信行 湯立神楽獅子の舞  
若月正重 太陽と樹№2:寒月、  
片岡世喜 寺院  
大聖堂  
谷口誠 やまんばひで  
菊地原俊二 炎炎  
山本潤一郎 旅  
刑部甫 露にぬれたたんぽぼの瘦果  
村上令一 枝の鳴るころ  
吉野英司 うなじ  
望月従道 湯治場の女たち  
村上昭子 台湾の思い出  
清野義雄 ホリティー  
中村信 磯の調べ  
桜井武人 作品83-B  
戸塚吉久 白い夜  
峰敬蓮(ファンタジー)

眞々田眞 若衆(道祖神祭より)  
松浦好雄 まつりにて(愛甲郡宮ヶ瀬)  
臼井孝 華(はな)  
直井三男 彼岸の候  
臼居一雄 みちのくの詩  
平林靖敏 水中花火  
鶴殿賢一郎 子供とみこし(鎌倉祭)  
青田吉生 ベナン島からの便り  
梅田修 曹洞宗法戰式(伊勢原石雲寺)  
石川清 ヌード  
飛田利和 柿の里  
後藤陽吉 カラオケ狂騒曲  
乙黒智子 秋色のアルプス  
(中央アルプス宝剣岳・千畳敷カール)  
松永清男 ひだまり(三ノ輪界隈)  
石渡四郎 BON ODORI(横浜市上瀬谷米軍基地)  
山下昭雄 湘南引き潮  
松江民雄 ピニール袋のパン  
青木繁雄 夜明けの乱舞  
内田隆 子供の国  
竹内光真 グソドバイ(横浜海浜住宅地区)  
越川敏子 アムステルダムの青物(横町)  
三鍋正男 うみねこのすむ港町(輪島にて)  
三村守 佐助稻荷  
中嶋直子 湖東の秋(びわ湖)  
堀川健次 舞い  
山口順正 紅涙一怨  
大島清秀 静かなる男  
樋松正己 嵴冬の一ノ倉沢にて  
萩原新八 錦秋(西吾妻)  
渡部義範 浜の主婦  
吉田一雄 海辺の村

## ■審査経過

### 〈工芸〉

第18回神奈川県美術展第2部(工芸・書・写真)の工芸部門審査は、昭和57年11月29日の午前と午後にわたって行われ、今回は186名による252点の応募作品の中から95名による95点が入選したのである。

応募の状況についてこれを前年度と比較すれば、今回は作品の数では15点減り、人数では16名の増加となっているように、従来から見てさしたる変化は認められないものの、県展という性格から考えれば、これからはもっと大幅に県の出身者や県民の応募が増大しなければ折角の意義が達成されないのでないかとも思われる。

審査方法に関しては、従来と異り全審査員が当初から1点1点作品の前で挙手による採点を行ない、第一次審査の結果は、過半数の支持を得た一応の入選作品が77点、1名の支持及び無支持で落選となつたものが123点、その他の52点は保留作品として第二次の審査に残された。そしてこの129点に対する第二次審査では、先ず同一作家の作品は1点にしほられ、同時にまた、特に問題点のある作品などについて慎重な協議や投票が繰り返された末、計34点が鑑別となり、その結果、95名の95点が入選と決定したのである。

次に行われた授賞審査では、入選作品の95点の中から全審査員の数回にわたる投票によって、大賞候補には横浜市の永井ひとみ作「FLASH」(染織)と小田原市の鈴木三成作「青盞平鉢」(陶芸)の2点、美術獎学会賞候補には横浜市の照屋和那作「乾漆点文描彩鉢」(漆芸)、横浜市の望月正子作「憧憬」(七宝)、横浜市の小林公子作「リズム」(人形)、横浜市の高橋あつ子作「空間と立体」(七宝)、小田原市の窪倉えつ子作「染額“翔”」(染織)の5点、さらに特別奨励賞候補には小田原市の大野茂登子作「型染訪問着“初秋”」(着物)、横浜市の鈴谷茂翁作「湿原の舞」(漆箱)(漆芸)、静岡県富士郡の今野登志夫(横浜市生まれ)作「緑釉象嵌花文鉢」(陶芸)、横浜市の柴崎信太郎作「光芒一錯綜する軌跡」(硝子)の4点が選出され、翌30日午後の大賞審査では、惜しくも工芸は鈴木三成が準大賞を得たにとどまり、永井ひとみは県議会議長賞を受賞した。そのため候補者は総て受賞と決つた。

今回の工芸部門審査での所感は、全体に盛り上りがとほしかったことで、特に金工や木竹の応募が低調であつたのは残念である。そして応募される方々に特に注意したいことは、具象であれ抽象であれ、現代の工芸というものは、現代という時代の感覚を的確に把握していく、しかも作者が自らの個性をオリジナルの作品の上に率直に表現しなければならないということである。

吉田耕三

●審査員 赤地友哉・飯野啓三・小野次雄・小野寺玄・各務鑑三・

河村又次郎・佐藤もとい・永井鐵太郎・野田芳生・

吉田耕三

●搬入点数 252点(186人)・入選点数 95点(95人)

## 〈書〉

本年県展書部門に於ける公募総数は254点で昨年に比べ43点の増加となり、ここ数年来漸増の傾向ではありましたが、今年は更に大巾の出品増となり、本展がようやくその充実の度を高めつつあります。鑑別審査は必然的にかなり厳しいものとなって、その内訳は公募数254点に対し入選163点で、6割4分という入選率となりました。この数値は全国都道府県別に見てもハイレベルと謂えるでしょう。

公募数の増加、或いは厳選の傾向等などについては一応の進歩を示すのですが、作品全般の様相については、やゝ沈滞気味であることがいなめません。主流をなす漢字部門は既に多くの人達が本展を卒業して、新人の出品者が多いためもあってか、全般に平凡でした。また近代詩文部門はその表現型式から押しても、もっと変化の多様性を求めて思い切った仕事の展開を期待したい、中でかな部門作品は、ここ一両年の間にその内容の充実と向上の跡が窺えました。然しそれぞれの個性の伸展をふまえ、かつ練度を示すものでした。

準大賞の武田清美君の作品は、同君の従来の表現から大きく脱却し、繊細な線質を駆使し章法も巧みで清澄感のあるものでした。特選の原茜処君の作品は所謂むつかしいとされる横物を首尾照応しており、料紙等も配慮してその効果を挙げてありました。以上は本年の枢要ですが、通鑑して感取された沈滞気味の要因については、年月の経過や、出品者の固定化など色々考えられますが、この隋性と沈滞は常にしのびよるものでしょう。

出品者は勿論、本書展の指導層を含めて、それぞれ工夫をこらし、個性豊かな新生面の開拓がのぞまれます。

殿村藍田

●審査員 菅原寿雄・竹田悦堂・溪口幽城・殿村藍田・中平南谿・西川万象・矢島撫周・吉田蘭処

●搬入点数 254点(254人)・入選点数 163点(163人)

## 〈写真〉

三部門での大賞の栄冠に輝いた井上隆敏作の「イグナドバ選手」は、純粹ポートレート作品として当美術展はじまって以来の大賞受賞であった。技術的に優れたポートレートは、いくらもあった。技術と表現がマッチしたものは少ない。選手控室の単純な壁をバックに、ブルガリアの世界的メダリスト体操選手のイグナドバ娘が静かに出で待っている、自然な姿である。競技場で演技がはじまれば、忽ち躍動美の極致をみせるイグナドバのパッションを秘めたムードがよく表現されている。抑えに押えた作品は、リチャード・アベンドンを思わせる。藤倉忠明作の「下栗の四季」も、大賞は逸したが大作である。伊那の遠山郷を一年がかりで撮りつけた成果がてた。ライフワークとして、これからも続けられることを望む。清水光作の「鬼氣」は、前二作とがらと変った表現形式で、ポスタリゼーションを駆使して妖氣を漂わせた。特殊技法がいかによくても、その技法と内容とがマッチしないと技法だあれに終る。この作品は、その美しい色とあいまって、主題が生きられた。沼田清作「童子誕生」は、紙粘土の童子像の奇妙な世界が面白い。唐童子がピヨコピヨコその辺を徘徊するような錯覚をおぼえる。メルヘンの世界である。梶渚作「早春の海」、二枚組の対比を使って、赤と青の海の美しさをよくしました。三井文一作「富士雲」、富士の自然現象の笠雲のダイナミックな風景が圧巻である。堀坂和夫作「躍動」は、蹴球レスの躍動感を狙って、動感の面白さを強調して、スポーツ写真のだいご味をよく表現した。中西栄造作「酔うほどに」、宴会場のスナップだが構成力が抜群。スナップ写真は説明になりがちだが、この作品のように、ムードを捕るために使うべきだ。題名の付け方もいい。千葉久男作「若者たち」、ねぶたの山車を写さずに、青森の若者たちの生態をズバリ描いて成功した。清水啓一作「傀儡師」、傀儡師と言う古い伝承の放浪芸人の世界が興味をひく。こうした滅びゆく運命の放浪芸、大道芸の世界を、しつかり記録してほしい。望月勝美作「キャベツ畠」、風景の構成力がいい。造形感覚がしっかりしている。内田幸夫作「流れ」、よくある渓流ものだが、三部作で対比的に見せたのが成功した。川口弘純作「巡礼の里」、軟調な仕上で巡礼と言う信仰の世界を表現した。入賞作品はいづれも得意なテーマを自分流に作画したのが、成功した。今回は、題名の付け方に粗雑なものがあると、各審査員から意見があつた。いい題名を付けようと逆効果にならぬよう留意されたい。

奥村泰宏

●審査員 五十嵐英寿・奥村泰宏・田中雅夫・藤田直道  
●搬入点数 345点(119人)・入選点数 145点(76人)

## ■大賞受賞者

- 
- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 第1回 40年度 大森運夫「九十九里」《日本画》                  | 第16回 55年度 和久井Who「HANGING」《立体造形》 |
| 第2回 41年度 廣瀬義男「作品I」《洋画》                    | 第16回 55年度 市原欣一「ふるさと」《写真》        |
| 第3回 42年度 垣内治雄「坐る」《彫刻》                     | 第17回 56年度 坂井彰夫「SEISHŌ」《彫刻》      |
| 第4回 43年度 川村直子「'69-A・'69-B」《洋画》            | 第17回 56年度 高木参平「BODY」《工芸》        |
| 第5回 44年度 山井イク夫「Lady70-1・2」《立体造形》          | 第18回 57年度 小泉正彦「冬の木」《洋画》         |
| 第6回 45年度 伊藤 彰「天涯巡礼」《日本画》                  | 第18回 57年度 井上隆敏「イグナドバ選手」《写真》     |
| 第6回 45年度 大久保利圏「Straw」《工芸》                 |                                 |
| 第6回 45年度 西川万象「廬子諒詩」《書》                    |                                 |
| 第6回 45年度 加賀谷武男<br>「にっぽんNONSENSE ZONE」《写真》 |                                 |
| 第7回 46年度 中西新太郎「落日」《洋画》                    |                                 |
| 第7回 46年度 島津碧嵐「寒山詩」《書》                     |                                 |
| 第7回 46年度 大谷正夫<br>「師ミス・ザンダー(フェリス女学院)」《写真》  |                                 |
| 第8回 47年度 佐々木英夫「人間の風景1・2」《版画》              |                                 |
| 第8回 47年度 林 良達「騎士」《工芸》                     |                                 |
| 第9回 48年度 河原 明「蜻蛉」《彫刻》                     |                                 |
| 第9回 48年度 石川充宏「Giri in chair」《工芸》          |                                 |
| 第10回 49年度 大山 鎮「語り」《日本画》                   |                                 |
| 第11回 50年度 鎌田恵子「Lost my way」《工芸》           |                                 |
| 第12回 51年度 泉谷淑夫「愁傷のモニュメント」《洋画》             |                                 |
| 第13回 52年度 井上 麦「黒の女ー'77」《彫刻》               |                                 |
| 第14回 53年度 坂田一之「MIRROR」《立体造形》              |                                 |
| 第15回 54年度 前本利彦「暗い部屋 I・II」《日本画》            |                                 |
| 第15回 54年度 川口流坡「菅原道真詩」《書》                  |                                 |

## ■第18回神奈川県美術展委員会組織

### ●顧問

小倉遊亀  
中島清之  
山本丘人  
小山敬三  
斎藤義重  
圓鍔勝三  
高田博厚  
赤地友哉  
各務鑛三  
蓮田脩吾郎  
殿村藍田  
比田井南谷

### ●委員会委員

委員長  
上野 豊  
副委員長  
李家正基  
神戸由雄  
菅原寿雄  
匠 秀夫  
竹田道太郎  
土屋利保  
三上次男  
吉田耕三  
加藤東一  
國領經郎  
斎藤壽一  
井上信道  
斎藤義重  
各務鑛三  
殿村藍田  
奥村泰宏

### ●大賞・準大賞選考委員

(日本画・洋画・版画・彫刻・立体造形部門) (工芸・書・写真部門)  
秋田由利 奥村泰宏  
井上信道 各務鑛三  
加藤東一 菅原寿雄  
國領經郎 殿村藍田  
斎藤義重 藤田直道  
斎藤壽一 吉田耕三  
匠 秀夫 竹田道太郎  
竹田道太郎 弦田平八郎  
三上次男 三上次男  
柳生不二雄

## ●審査員

### 〈日本画〉

片岡 球子  
加藤 東一  
工藤 甲人  
竹田道太郎

### 〈洋画〉

相笠 昌義  
奥谷 博  
國領 経郎  
勝呂 忠  
匠 秀夫  
弦田平八郎

### 〈版画〉

岩見 禮花  
斎藤 壽一  
高柳 裕  
田島 宏行  
柳生不二雄

### 〈彫刻〉

井上 信道  
垣内 治雄  
陶山 定人  
三上 次男

### 〈立体造形〉

秋田 由利  
飯塚 八朗  
斎藤 義重  
吉田 克朗

### 〈工芸〉

赤地 友哉  
飯野 啓三  
小野 次雄  
小野寺 玄  
各務 鑛三  
河村又次郎  
佐藤もとい  
永井鐵太郎  
野田 芳正  
吉田 耕三

### 〈書〉

菅原 寿雄  
竹田 悅堂  
溪口 幽城  
殿村 藍田  
中平南谿  
西川 万象  
矢島 撫周  
吉田 蘭処

### 〈写真〉

五十嵐 英寿  
奥村 泰宏  
田中 雅夫  
藤田 直道

## ●実行委員

### 〈日本画〉

浅見 信夫  
大山 鎮  
能島 和明

### 〈洋画〉

阿部 和美  
大里 光春  
神部 修一  
阪本文 男  
白鳥 三郎  
鈴木 雪子  
田口 弘勝  
吉崎 道治

### 〈版画〉

斎藤カオル  
西田 知子  
両角 修

### 〈彫刻〉

河原 明  
小島 弘  
渋谷 武美  
松田喜三郎

### 〈立体造形〉

倉重 光則  
鈴木 明  
中島けいきょう

### 〈工芸〉

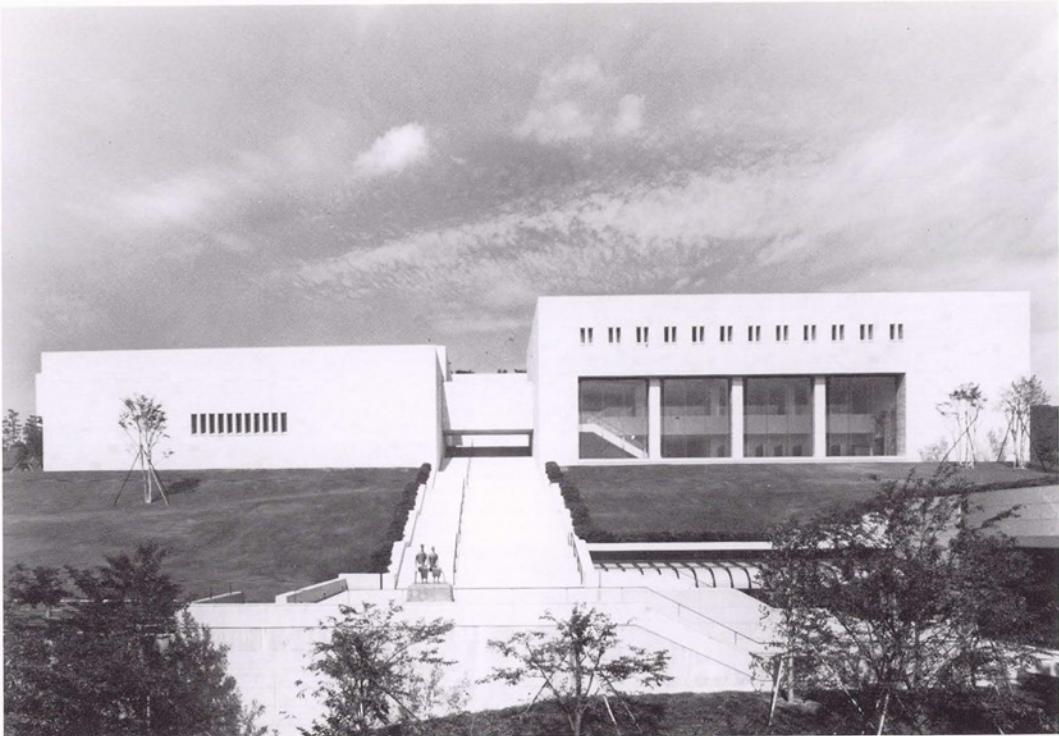
赤堀 郁彦  
国行 道子  
鈴木 三成  
鐸木 能子  
中田 呂尚  
林 亘  
尾留川 忠  
松井 三郎

### 〈書〉

池上 鶴洋  
伊東 撫劍  
大島 崑山  
重田 翠村  
仙場 右羊  
船本 芳雲

### 〈写真〉

鈴木 健夫  
鈴木登美太郎  
高橋 勤  
中島 倍三  
野沢 喜七  
平本 昌義  
吉田健吉郎



〒413 静岡県熱海市桃山町26—2 TEL (0557)81—5785 热海駅よりバス④番線

開館	AM9:30～PM4:00 〈入館はPM3:30まで〉
休館日	毎週木曜日
観覧料	大人 1,000円 高・大生 700円 小・中生 500円 〈団体20名以上2割引〉

MOA美術館  
MOA MUSEUM OF ART



〒250-04 神奈川県箱根町強羅1300 TEL (0460)2—2623 ケーブルカー公園上駅前

開館	AM9:30～PM4:00 〈入館はPM3:30まで〉
休館日	毎週木曜日
観覧料	大人 500円 高・大生 300円 小・中生 200円 〈団体20名以上2割引〉

箱根美術館  
HAKONE MUSEUM OF ART

うららかな日だまりの中で…。

彫刻の森美術館

(休館日なし)

箱根登山鉄道・彫刻の森駅下車

TEL 0460-2-1161



姉妹館

美ヶ原高原美術館

(4月 - 11月開館 冬期休館)

長野県ビーナスライン美ヶ原線終点



○ サクラカラー プリント



信頼のあける品質を  
迅速にあとどけする

プロ用カラープリント  
アマチュア用カラープリント

株式会社 京浜サクラカラー  
横浜市金沢区福浦2-4-13 ☎ 045 (701) 2121

サクラカラーII

# NINA RICCI



知的な成熟と呼びたいシルエットに  
パリのエレガンス香るニナ リッチ  
つねに 大人のファッショントを創り  
つづけるブティックの名門として世界  
のトップレディに愛されています  
横浜マツザカヤから あなたへ ——  
ニナ リッチ



ニナ リッチ ブティック ■本館3階

おしゃれなレンガの散歩道  
**イセザキ・モール**

国鉄・地下鉄関内駅下車  
京浜急行日ノ出町駅下車  
イセザキ町



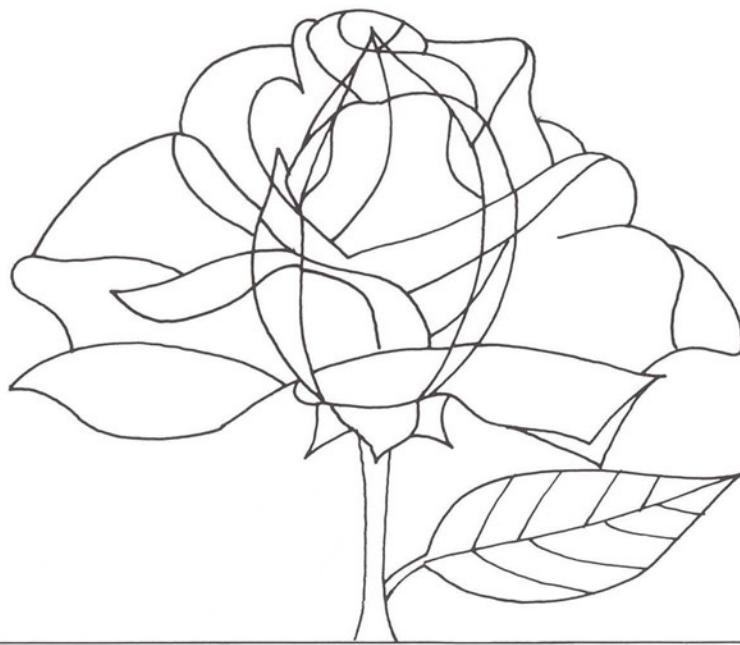
**横浜松坂屋**

電話 261-2121 水曜定休



お車のお客様は パーキングをご利用ください

# 財団法人 神奈川県美術奨学会



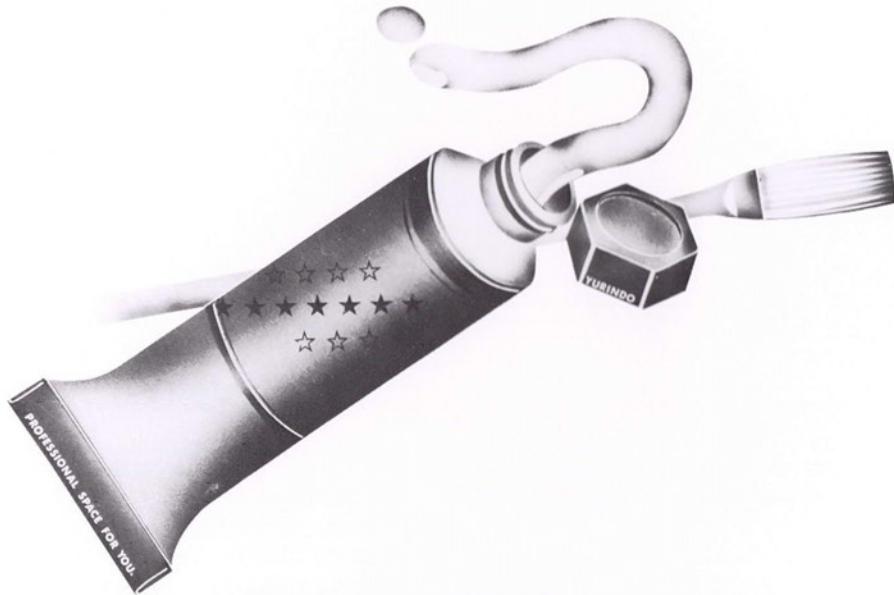
## ■ 美術振興基金募集

当法人は、県内の美術振興と新人作家の発掘・育成を目的として昭和45年に設立、以後毎年「神奈川県美術展(神奈川県・神奈川県美術展委員会主催)」に出品された優秀作家に奨学金(美術奨学会賞)を給付していますが、基金を増額し、更に意義ある奨学金といいたしく篤志家の御寄付をお願いしております。

皆様方の御協力をあお願い申し上げます。

なお、寄付金は、基金に繰り入れさせていただき、この基金の運用金(利子)から奨学金として給付されます。

# 県下随一！ 画材・製図・デザイン用品の専門店



## 画材・製図デザイン用品コーナー

● ユーリンファボリ 横浜・馬車道 TEL.(045)662-1231

地下鉄関内駅馬車道口下車1分・国鉄関内駅北口下車3分

● 藤沢店 藤沢駅南口名店ビル6階  
TEL.(0466)26-1411

● 厚木店 小田急線・本厚木駅前  
TEL.(0462)23-4111

洋画材料/デザイン用品/製図用品/日本画材料/各種紙類

グループ展に…個展に…

作品発表の場としてご利用下さい。

ユーリンファボリ・7階ギャラリー

● ギャラリーについてのお申込み・お問合せは  
有隣堂営業企画課ギャラリー係へどうぞ。  
TEL.(045)261-1245 代表)

# 一搬入・出代行・貸額縁一

各公募展、グループ展、個展・地方発送承ります



アートサービス

TEL.(045)715-6444

有限会社 アートサービス/〒232 横浜市南区大岡1-10-9 高橋ビル1階



ART SERVICE INC.  
1-10-9 ŌKA-CHO MINAMI-KU  
YOKOHAMA-CITY JAPAN  
TEL (045)-715-6444



おやくそくの日  
集荷 → アトリエ

搬入、手続代行、搬出  
美術館  
ギャラリー  
etc → おやくそくの日  
アート  
サービス → 配達  
アトリエ

## 予約受付

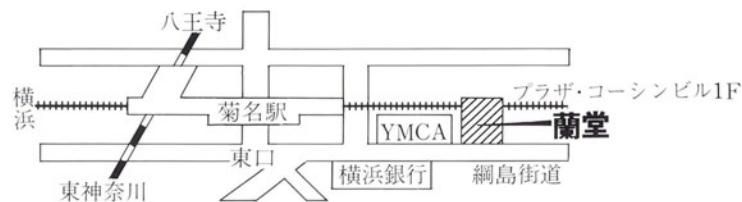
- ◆作品搬入出運搬及び手続代行
- ◆貸額縁(公募展用本額縁)
- ◆地方出品荷受、発送業務
- ◆画集用写真ファイル

(早い返送、気持ち良いサービス)

# 画材・額縁なら蘭堂.....

- 油絵本縁0号～100号 その他各種在庫豊富に揃えております
- 貸額縁30号～100号 搬入搬出アートサービス
- デザイン材料・造型材料・紙類・学校美術教材

営業時間 10:00A.M.～7:00P.M.  
定休日 日曜日



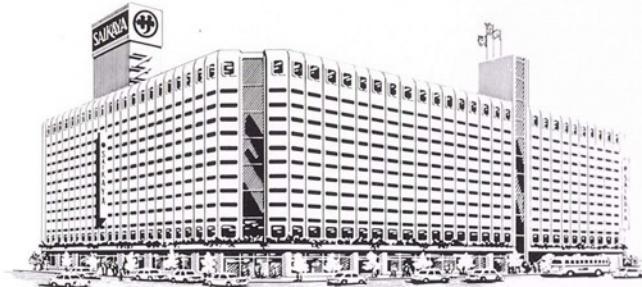
有限会社美術

# 蘭堂

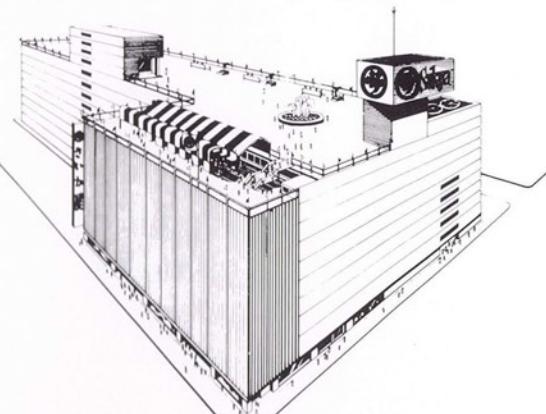
横浜市港北区菊名6-13-53 プラザ・コーリング1F  
TEL 045-433-2092



よい品にまごころそて 豊かな暮らしのお手伝い。



●川崎店 ☎044・211・3111 〒210 川崎市川崎区小川町1



●横須賀店 ☎0468・23・1234 〒238 横須賀市大瀧町1-10

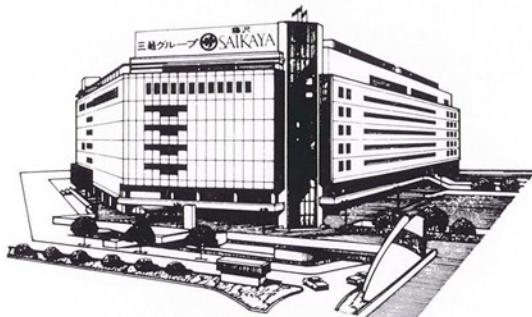


さいか屋

川崎店・横須賀店

水曜定休

世界のファッションと文化のプラザ



●藤沢さいか屋 ☎0466・27・1111 〒251 藤沢市藤沢555



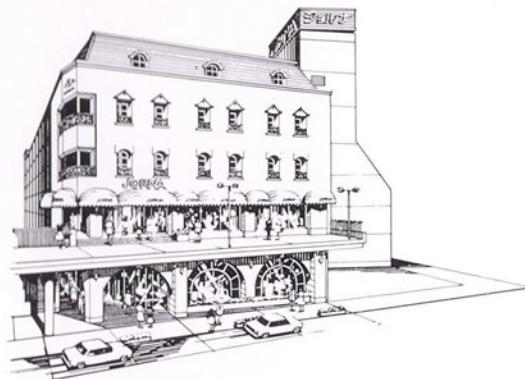
三越グループ

藤沢

さいか屋

水曜定休

若い仲間のファッションロード  
ジョルナ



●町田ジョルナ ☎0427・23・2531  
〒194 町田市原町6-6-14



MACHIDA

JORNA

第2・3水曜定休



狙いは、

● 残したい矩形、伝えたいイメージ——あなたのハートを印刷します。



●グラフィックのトータルプランナー  
**株式会社 ガリバー**

〒223 横浜市港北区新吉田町2933 TEL.(045)541-1341代

出会いは、インターナショナル。

洗練された120店の個性が、ファッショントートを演出します。



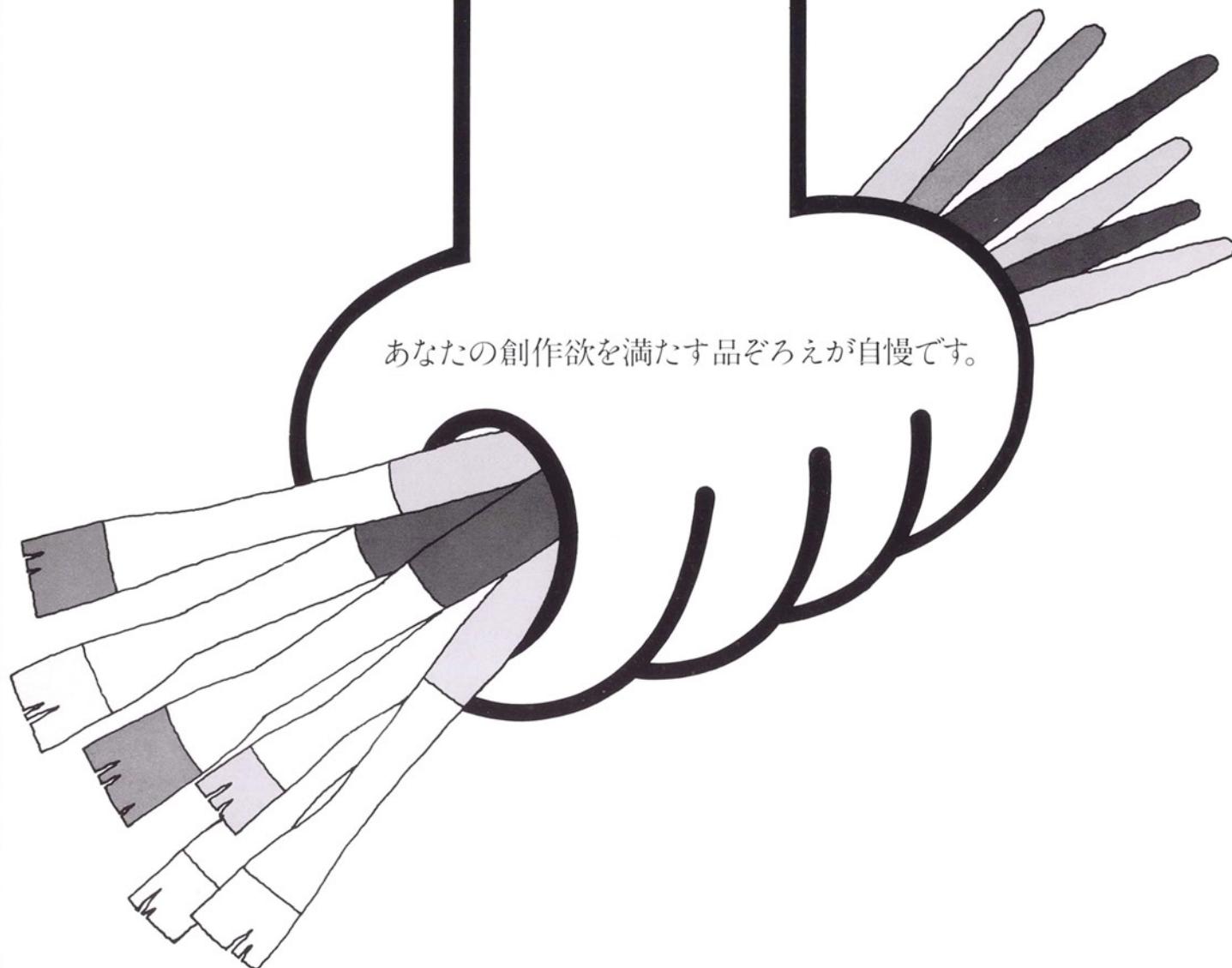
**porta**  
FASHION PORT YOKOHAMA

東口地下街ポルタ

**UCHUDO**

●洋画材料●デザイン用品●額縁

あなたの創作欲を満たす品ぞろえが自慢です。



# ALL OF ART MATERIAL

**宇宙堂**

横浜店 横浜ステーションビル・シアル4F TEL.045-311-2770

鶴見店 鶴見駅ビル3F・5F TEL.045-521-4520(3F)・045-521-3637(5F)

蒲田、仙台、千葉、津田沼、船橋、茨城、静岡、松江、他全15店舗

Rosen  
thal  
studio-linie

# 暮らしに芸術家の心を ローゼンタール



ヨーロッパ各国の一流作家を擁し数多くの作品を生み出している西ドイツ《ローゼンタール社》  
空と湖にひろがる波紋の美しさを表現したロータスシリーズ《パステル》が新登場 食卓に華を…

〈ローゼンタール〉はタカシマヤでお求めいただけます

高 Takashimaya YOKOHAMA

発 行 神奈川県美術展委員会

撮 影 熊代志津夫

制 作 ガリバー

